

栗野町報 第十六號

會 議

◎十月四日町會

第一號

一、大正十二年度本町歳入出豫算追加ノ件

△別紙ノ通り修正可決

第二號

一、賀蘇山神社修繕費中へ補助金下附ノ件

右神社ヨリ補助願出ニ付審査ノ處大日堂ノ如キ
古建築ノ釋ヲ拔キ古社寺保存法ニ依ル保護建
築物ノ學ヲ摩シ賀蘇山神社モ之ヲ修繕シ舊時ノ
偉觀ニ復シ神社トシテノ尊嚴ヲ維持スルハ敬神
ノ念ヲ濃厚ナラシムル所以ナルニ付修繕費中へ
金壹千圓ヲ補助セントスルニアリ

△原案可決

第三號

一、本町軍人分會へ補助金下附ノ件

一、過般帝都ノ震災ニ付救護班トシテ上京シ又
ハ救護品ノ蒐集輸送其他ニ要セシ經費金二
百十五圓ヲ補助セントスルニ在リ

△修正可決

第四號

一、本町青年會へ補助金下附ノ件

一、過般帝都震災ニ付キ救護班トシテ上京シ又
ハ救護品ノ蒐集輸送其他ニ要セシ經費金二
百十五圓ヲ補助セントスルニ在リ

△追加修正可決

第六號

一、第三區長辭任報告ノ件

第三區長松本菊太九月一日辭任

第七號

一、第三區長選舉ノ件

△松本義平當選

第一號議案

大正十二年度栗野町歳入出追加豫算

一、金四万三千八十圓 歳入既定豫算額

一、金三千八百〇七圓 歳入追加豫算額

合計金四万六千八百八十七圓

第二號議案

一、金三万四千五百五十八圓 經常部歳出既定豫算額

一、金二千五百五十七圓 經常部歳出追加豫算額

合計金三万六千三百十五圓

一、金八千九百二十二圓 臨時部歳出既定豫算額

一、金千六百五十圓 臨時部歳出追加豫算額

合計金四万六千八百八十七圓

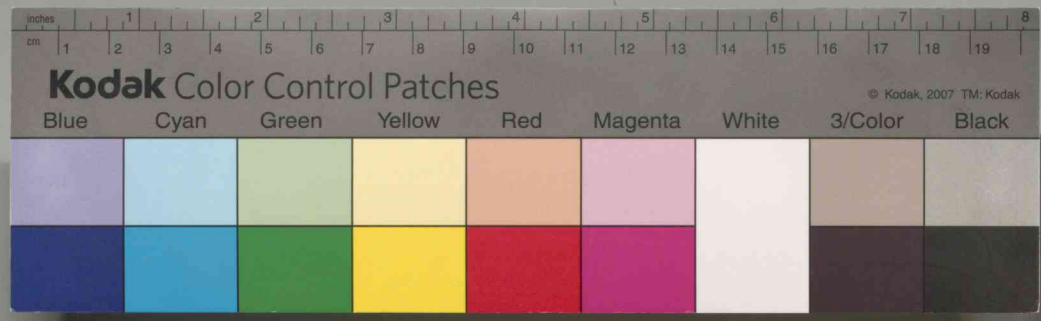
差引殘金ナシ

科 目	種 目	豫 算		經 常 部		附 說	明 記
		追加額	既定額	計	計		
七寄附金	一、小學校基 二、本金寄附	1,700.00	100.00	1,800.00	1,700.00	福田七右衛門寄附	
	一、小學校基本財 寄附	100.00	100.00	200.00	100.00	福田七右衛門寄附	
	三、小學校備 品費寄附	100.00	0.00	100.00	100.00	福田七右衛門寄附	
	一、寄附 小學校備品費	100.00	0.00	100.00	100.00	福田七右衛門寄附	
	四、町基本金 寄附	1,000.00	1,000.00	2,000.00	1,000.00	福田七右衛門寄附	
	一、積金 指定寄附	1,000.00	1,000.00	2,000.00	1,000.00	福田七右衛門寄附	
合計		3,900.00	2,100.00	6,000.00	3,900.00		

大正十二年度本町歳入出追加豫算

合計金四万六千八百八十七圓

栗野町報 第十六號



栗野町報 第十六號

科 目	一 役 場 費	二 雜 給	三 需 用 費	第二尋常 五高等小學 校費		第一尋常 四高等小學 校費		七 賞 與	八 繰 越 金
				一 備 品 費	二 雜 給	三 需 用 費	四 賞 與		
計	一八〇〇〇	一六〇〇〇	五〇〇〇	二六〇〇〇	七〇〇〇	二六〇〇〇	二六〇〇〇	六〇〇〇	二,四〇七,〇〇〇
追加	一八〇〇〇	一六〇〇〇	五〇〇〇	二六〇〇〇	七〇〇〇	二六〇〇〇	二六〇〇〇	六〇〇〇	二,四〇七,〇〇〇
既定	一八〇〇〇	一六〇〇〇	五〇〇〇	二六〇〇〇	七〇〇〇	二六〇〇〇	二六〇〇〇	六〇〇〇	二,四〇七,〇〇〇
計	一八〇〇〇	一六〇〇〇	五〇〇〇	二六〇〇〇	七〇〇〇	二六〇〇〇	二六〇〇〇	六〇〇〇	二,四〇七,〇〇〇
附 記					講堂備付椅子腰掛購入代			有給吏員以下年末賞與増額	
附 記								有給吏員旅費増額	
附 記								臨時雇人賃増額	
附 記									大正十一年度繰越金増額

栗野町報 第十六號

五

四





粟野町報 第十六號	三雜支出	一管理費	一七財產費	一五基本財產 造費	一三需用費	十四警備費	七實業補習 學校費	六尋常小學 校費
三雜 費	一管理費	一七 財產費	一五 基本財產 造費	一三 需用費	十四 警備費	七 實業補習 學校費	六 尋常小學 校費	
100.00	80.00	80.00	1,000.00	1,000.00	100.00	100.00	100.00	600.00
100.00	80.00	80.00	1,000.00	1,000.00	100.00	100.00	100.00	600.00
95.00	80.00	80.00	1,000.00	1,000.00	100.00	100.00	100.00	600.00
1,050.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
各項目ニ屬セサル雜支出増額	一樹木植付費 一小學校樹栽費	一積立金 一立金	一積立金	一積立金	一積立金	一積立金	一積立金	一積立金
	60.00 10.00	100.00 10.00	100.00 40.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00
	町有林刈拂入夫賃増額 學林刈拂入夫賃増額	寄附ニ依ル町基本金積立金	寄附ニ依ル町基本金積立金	寄附ニ依ル町基本金積立金	寄附ニ依ル町基本金積立金	寄附ニ依ル町基本金積立金	寄附ニ依ル町基本金積立金	寄附ニ依ル町基本金積立金
	26.00 40.00	100.00 10.00	100.00 40.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00	1,000.00 1,000.00
		震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢	震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢	震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢	震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢	震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢	震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢	震災ニ因ル警備ノ爲メ出動代消防役 員以下五百人一人二十錢
		機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代	機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代	機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代	機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代	機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代	機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代	機腰掛十三組七圓教卓一ヶ六圓 黑板一枚八圓五十錢二枚教壇一個六 圓五十錢二個代
		教員年末賞與増額	教員年末賞與増額	教員年末賞與増額	教員年末賞與増額	教員年末賞與増額	教員年末賞與増額	教員年末賞與増額
		30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00

536 粟野地区 粟野町収集文書

ア2



栗野町報 第十六號

科	算	項	目	追	加	額	科	目	追	加	額	既	定	額	計	附	説	明	
六表	彰	費	贈	一	慰	勞	贈	一	慰	勞	贈	一	慰	勞	贈	一	慰	勞	贈
九	墓	地	費	一	整	理	費	地	一	墓	地	整	理	費	地	一	墓	地	整
合	計																		
計																			
計																			
計																			

栗野町報 第十六號

科	算	項	目	追	加	額	科	目	追	加	額	既	定	額	計	附	説	明	
三	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費
三	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費
三	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費
三	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費	一	實	行	費

栗野町報 第十六號



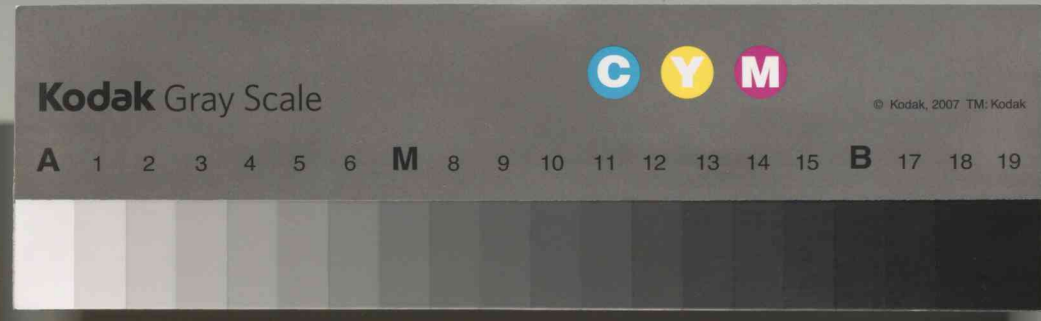


粟野町報 第十六號

字	新	下	上	葉	桑	柏	橫	中	岡	梅	日	板	計
名	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒
給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反
別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考
考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考

字	新	下	上	葉	桑	柏	橫	中	岡	梅	日	板	計
名	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒	燒
給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反
別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別	別
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考
考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考

粟野町報 第十六號



<p>△授業料 六〇〇 △寄附金 四三三 △雑収入 七七七 △國庫補助臨時 二二〇、四三三 計 一、三〇七、七〇七</p>		<p>△圖書價格 一、八三三、〇〇三 △器械標本 五、二二九 △器具價格 五八三、三二二 △器具標本 三、四八三、六二二 合 計 二、九八三、一八七</p>	
<p>△土庫坪數 六、〇一五 △建物坪數 六、〇一五 △土地價格 一、〇〇五 △建物坪數 七、七一一 △土地價格 三、五九九 △建物坪數 一、〇〇五 △土地價格 三、五九九</p>		<p>△現金 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九</p>	
<p>△土庫坪數 六、〇一五 △建物坪數 六、〇一五 △土地價格 一、〇〇五 △建物坪數 七、七一一 △土地價格 三、五九九 △建物坪數 一、〇〇五 △土地價格 三、五九九</p>		<p>△現金 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九 △坪數 一、九四九、一四九</p>	

栗野第二尋常高等小學校校長 榎木武雄

九月一日の京濱地方大震災は有史以來の大被害でありまして日本國民は此の災害の損失を等しく負擔せねばならぬといふ事はすでに覺悟してゐる事であり、更に「朕深く自ら戒愼して止まず」と仰せられ、又「寢食爲めに安からず」と仰せられ、また此の言葉を拜しては誠に恐懼措能はざる所であり、茲に本校は大いに感ずる所あり、まして數年前より教導して居りました、知足安分消費節約を兒童に徹底的に實行せしめたいと思へ、まして左の事項を申渡しました

一、衣服などはみだりに新規なものを望まぬこと
二、毎日のお辨當は家であつてゐるものを持参すること
三、筆紙墨鉛筆其他學用品一切は今ふつたり、汚しあり、むだにつかはぬこと
四、金銭はむだづかひせず餘りあれば貯蓄すること
又仕事の手つだひは出来るだけすること
以上の四つであります、要するに教育は教師と父兄母姉と一致して好模範を示し實踐指導して成績を擧げ得ると信じます、故に本校の主義の意を諒解の上徹底を期せらる、機御努力を願ふ次第であります

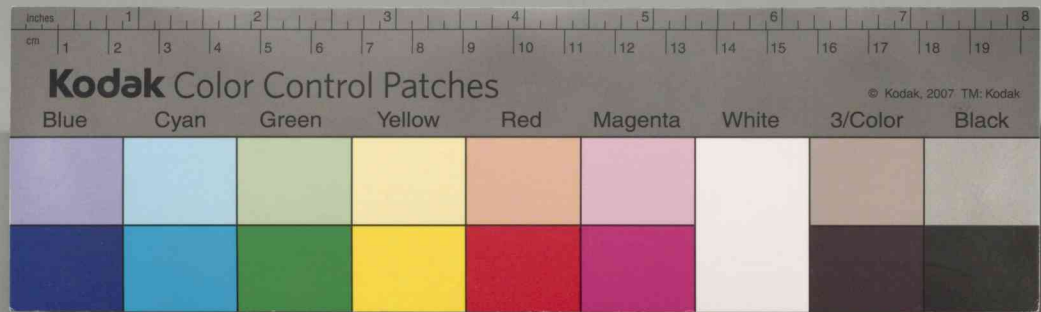
栗野實業補習學校ニテハ本月ヨリ栗野補習學報ヲ發行シ補給教育ニ關スル諸般ノ事項ヲ報導スルコト、ナレリ創刊號ヲ見ルニ裨益能ク整ヒ記載妥當モト間然スル所無ク實益ト趣味ト併セ有スルモノナルヲ思フ健全ナル發達ヲ望ム

震災避難者調査

九月一日關東地方ニ於ケル震災民ニシテ死亡、行術不明トナリ或ハ各地方ヘ避難セルモノ極メテ多ク從テ人口ノ増減甚シキヲ以テ震災地方ニ於ケル各般ノ善後施設其他復興ニ關スル方針ヲ計劃スルコト困難ナルニ付今般全國ニ亘リ一齊ニ是等罹災者ノ調査ヲ施行スルノデアリマス而シテ罹災民ニ關スル各個人ノ身上事項ハ決シテ公示スルモノニアラザレハ之カ調査ヲ忌避スルコトナク正確ナル事實ヲ申告シ以テ精確且敏速ニ調査ヲ完了ナラシムルコト

記入心得 (罹災者及避難者調査の分)

一、此調査は震災に關する各般の善後施設及帝都其他災害地の復興に付最も大切な基礎資料となるのでありますから正直に有儘を書いて下さい。
二、此の票に書かれる個々の事項は決して他人に漏したり公表したりすることはありませんから安心して



C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

栗野町報 第十六號

栗野町報 第十六號

て事實の有儘を書き下す。

一、此調へば震火災の爲めに災害を受けた人及震災地から避難して来て居る人に付き一人一人に就て調べるのでありますから銘々に個人票に調査事項を記入し、尚罹災者又は避難者の内で震災當時の世帯主又は之に準ずべき人(世帯主が死亡し又は行衛不明のときは生残つた家族の内で世帯主に代るべき人)に限りて世帯票に記入して下さい。

二、此の調査票は凡て十一月十五日午前零時の現在に依り調べるのであります。

一、世帯票

此の票は世帯主又は之に準ずべき人が自分と現に一緒に居る家族及しん災に依り死亡し又は行衛不明となつた家族に付て持へるのであります。若し他の場所別れて居る人があつても世帯員の計算には入れないで下さい。又學生生徒工女職工旅行者等しん災當時旅館下宿屋とか寄宿舎等に居つて獨立の世帯を持たなかつた人は世帯票を掲へる必要はありませぬ。

世帯票「調査區」の欄には市區町村長「調査員氏名」の欄には調査員が記入するのであります。

一、世帯主の「住所氏名」欄中「現居所」には調査せらるる、世帯主又は之に準ずべき人の現に居る場所を何番地何方内等としん災當時の住所「欄」にはしんさい當時住んでゐる住所(しん災地以外の者で

程度のものをご標準として夫れ／＼區別して當該文字の右側に◎印を付けて下さい。

四、「備考欄」には震災當時同じ世帯に居る人で現に別々な所に居る人があれば其の場所及氏名を又しん災地以外の人で震災當時一時しん災地に滞在し其の居つた家や旅館若し下宿等が焼けたり潰れりする事項を記入して下さい。

世帯票を掲へる場合は一世帯に属する各人の個人票は世帯票と一緒に世帯票の人員数と個人票の枚数と同一であるかどうかが数へて重複又は脱漏のない様にして下さい。

二、個人票

一、「住所氏名」欄中「現居所」震災當時の住所「氏名」欄は世帯票(一)の説明に準じ世帯主又は世帯主との續柄の所には世帯主とか妻(内縁)ニテモ差支ナシ)長男妹女中とか世帯主又は世帯主との續柄を書き下して下さい。

二、「避難場所の種類」欄には親族の家に居るか知己の家に居るか無關係の家に居るかに従ひ當該文字の右側に◎印を附け自己所有の家や新に借家して避難した人又は官公署學校バラック等に在る者は其の旨下方に記入して下さい。

三、「體性年齢死傷病」の欄中「男女の別」欄には男又は女と書き「年齢欄」には數へ年を何歳と書き「重傷」

しん災地に滞在してゐる者は其の居所)を記入し其の下に氏名を書き下して下さい。

二、「世帯人員」欄の「現存者」中「無事」とある所には震火さいの爲め死傷しなかつた人の数を「重傷」の所には震火さいの爲め重傷を受け不具瘵疾となつた者又は不具瘵疾となる見込の者若くは三十日以上休業して療養した者の数を「輕傷」の所にはしん災の爲め負傷を受け七日以上休業して療養した者の数を「計」の所には以上の合計を「死者行衛不明者」欄中「死者」行衛不明「計」とある所に夫れ／＼しん災の爲め死亡した人又は行衛不明となつた人並に其合計人員を「合計」とある所に右現存者及死亡行衛不明となつた者の合計を「失職」とある所には現存して居る人の内でしん災當時職業を持って居つたがしん災の爲めに會社工場等が焼けたとか潰れたとか等の爲め職を失ひ現に職業のない人の数を個人票の職業欄から數へて記入して下さい。世帯人員數には世帯主を入れて數へて下さい。該當事項のない欄には斜線を引いて下さい。

三、「住宅罹災の種類」欄中「全焼」「全潰」「全流失」は震火水災の爲め全く住居をすることが出来なくなつたもの「半焼」「半潰」「半流失」は其修繕を加ふるとなれば居住が出来なくなるもの「波損」は居住に差支なきも震災の爲め大分破損せるもの「無破損」は何等被害のないもの又は壁にヒビが入り瓦が多少落ち

「輕傷」「病氣」「行衛不明」の所には夫れ／＼しん災に依り重傷を受けたり輕傷を受けたり(區別の標準は世帯票二の説明に依る)死亡しなかつた行衛不明となつた者又は病氣に罹つた者に依り夫れ／＼當該文字の右側に◎印を付けて下さい。死亡、行衛不明等現存しない人に付ては世帯主、家族知人調査員等に於て便宜判明せる事項のみ記入して下さい。

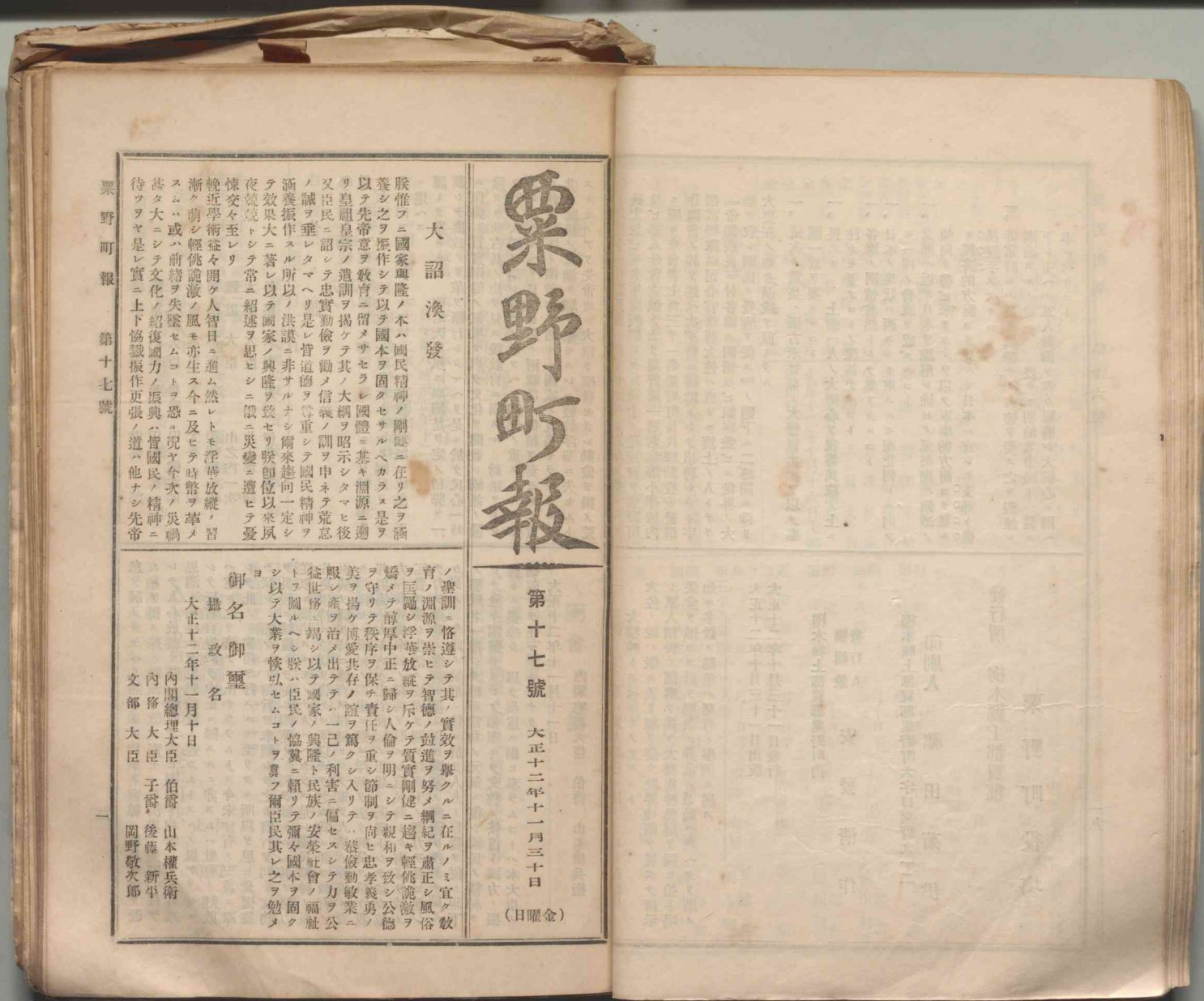
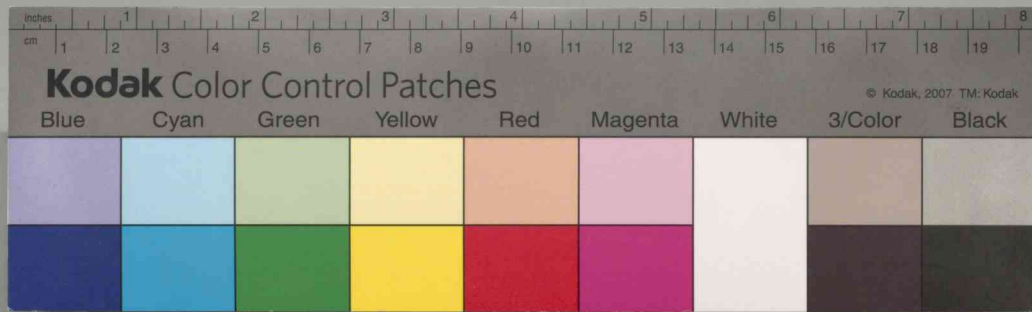
四、「職業」欄中「震災當時の職業」及「現職業」の所には「何工場鑄造工」「何銀行出納掛」「生魚小賣商」等任事の種類を可成詳しく書き職業なき人は斜線を引く事に職業あるも一時的の職業に従事する者は其の職業と共に一時的なるや否やを書き「希望職業」の所には現に職業なき者又は一時的の職業に従事する者に限り其の希望する職業を記入して下さい。

五、「住宅罹災の種類」欄は世帯票(二)の説明に準じて記入して下さい。

六、「今後の住所」欄には今後住居しようとする府縣郡市(區)名を書き下して下さい。但し現居所に其の隣居る者又はしん災當時の住所に歸らんとする者は「現居所」又は「震災當時の住所」を書いて差支ありません。現居所に在留見込期間の欄には現に居る場所に今後何日位居る見込であるかに依り「何年位」「何箇月位」「何日位」を記入して下さい。

七、備考欄は世帯票(四)の説明に準じて書いて下さい。しん災當時の所在地とは東京府、神奈川縣、千葉





粟野町報 第十七號

粟野町報

第十七號 大正十二年十一月三十日

(日曜金)

大詔 渙發

朕惟フニ國家興隆ノ本ハ國民精神ノ剛健ニ在リ之ヲ滿
 養シ之ヲ振作シテ以テ國本ヲ固クセサルヘカラス是ヲ
 以テ先帝意ヲ教育ニ留メサセラレ國體ニ基キ淵源ニ遡
 リ皇祖皇宗ノ遺訓ヲ揭ケテ其ノ大綱ヲ昭示シタマヒ後
 又臣民ニ詔シテ忠實勤儉ヲ勸メ信義ノ訓ヲ申メテ荒怠
 ノ誠ヲ垂レタマヘリ是レ昔道徳ヲ尊重シテ國民精神ヲ
 涵養振作スル所以ノ洪謨ニ非サルナシ爾來趨向一定シ
 テ效果大ニ著レ以テ國家ノ興隆ヲ致セリ朕即位以來夙
 夜兢兢トシテ常ニ紹述ヲ思ヒシニ儼ニ英靈ニ遭ヒテ憂
 悚交々至レリ

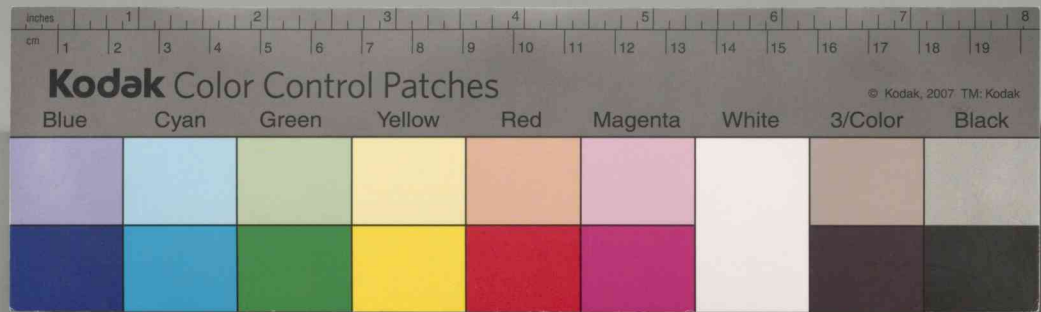
ノ聖訓ニ恪遵シテ其ノ實效ヲ擧グルニ在ルノミ宜ク教
 育ノ淵源ヲ崇ヒテ智徳ノ並進ヲ努メ綱紀ヲ肅正シ風俗
 ヲ匡屬シ淳厚中正ニ歸シ人倫ヲ明ニシテ親和ヲ致シ公徳
 ヲ守リテ秩序ヲ保チ責任ヲ重シ節制ヲ尚ヒ忠孝義勇
 美ヲ揚ケ博愛共存ノ誼ヲ篤クシ入りテ一榮儉勤敬業ニ
 服シ盡テ治メ出テテハ己ノ利害ニ偏セズ社會ノ福祉
 益世務ニ竭シ以テ國家ノ興隆ト民族ノ安樂社會ノ福祉
 ヲ以テ大業ヲ恢弘セムコトヲ冀フ爾臣民其レ之ヲ勉メ

御名 御璽

大正十二年十一月十日

內閣總理大臣 伯爵 山本權兵衛
 內務大臣 子爵 後藤 新平
 文部大臣 岡野敬次郎





栗野町報 第十七號

告 諭

●内閣告諭號外
 曩ニ帝都ノ復興ニ關スル聖詔ヲ拜セシニ今又精神振作ノ大詔ヲ下シテ國家興隆ノ道ヲ示シタマヒ國民ヲシテ其ノ向フ所ヲ知ラシメタマフ 獻慮深遠誠ニ感激ノ至ニ堪ヘス
 明治天皇夙ニ開國ニ定メ精弊ヲ一新シテ庶政ノ革新ヲ斷行シタマヘリ是ニ於テ民心一時ニ作興シ實剛健ノ氣風ヲ以テ文化ヲ開發シ國運ノ隆降タル前古其ノ比ヲ見ス後教育ニ關スル 勅語ヲ下ラシメタマヘリ日清日露ノ兩戰役ニ偉績ヲ奏セシハ實ニ教育勸諭ノ明效ナリ然レニ國威ノ宣揚セラレタルト共ニ國民ノ意漸ク勵リ動モスレハ輕佻浮華ニ失セムトスルモノアリ先帝更ニ大詔ヲ煥發セラレ勸儉ヲ勸メ荒

海軍 大臣 男爵 田中 義一
 陸軍 大臣 男爵 田中 義一
 農商務 大臣 男爵 犬養 毅
 逓信 大臣 平沼 騏一郎
 司法 大臣 山之内 一次
 鐵道 大臣 井上 準之助
 外務 大臣 男爵 伊集院 彦吉

財部 大臣 鹿 野 忠直
 內務 大臣 尾 崎 士郎
 文部 大臣 小 幡 武敏
 學務 大臣 小 幡 武敏
 農商務 大臣 犬養 毅
 逓信 大臣 平沼 騏一郎
 司法 大臣 山之内 一次
 鐵道 大臣 井上 準之助
 外務 大臣 男爵 伊集院 彦吉

●栗野町告示第三一號
 本町々會議員補缺選舉左ノ通り執行ス
 一、選舉會場 栗野町役場
 一、投票ノ日時
 二級投票 大正十二年十二月七日
 自午前八時至正午十二時
 一級投票 大正十二年十二月七日
 自午後二時至午後五時
 一、選舉スベキ議員數
 二級 貳人
 一級 貳人
 右告示ス
 大正十二年十一月十八日
 栗野町長代理助役 安發 清作

●栗野町告示第三二號
 栗野町會議員補缺選舉投票用紙左ノ通り相定ム
 右告示ス
 大正十二年十一月十八日
 栗野町長代理助役 安發 清作
 (用紙雛形等)

●十一月二十四日
 第一號
 一、縣稅戶數割賦課ニ關スル所得額決定ノ件
 △原案可決
 第二號
 一、大正十二年度縣稅下半年度追加戶數割賦課ニ關スル件
 左記ノ通り
 △修正可決
 第三號
 一、縣道爲生栗野線口栗野字中町上町地内道路改築ニ關シ用水路新設費中へ補助金下付ノ件
 縣道爲生栗野線口栗野字中町上町地内道路改築ニ關シ口栗野字中町上町地内用水路石垣工事費中へ金六百七拾壹圓ヲ補助セントスニアリ
 內譯
 金五百四拾圓也
 金百參拾壹圓也
 △金五百圓補助ニ修正可決
 第四號
 一、大正十二年度本町歳入出豫算追加ノ件

栗野町報 第十七號





栗野町報 第十七號

左記ノ通り

△修正可決

第五號
一、寄附受入ノ件
一、本町大字口栗野福田七右衛門元栗野第二尋常高等小學校長榎木武雄ヨリ別紙ノ通り寄附願出アリタルニ依リ受入ヲナサントスルニアリ

寄附願
一、金七百圓也
内譯
金五百圓也
一、ラルガン
栗野町基本金
寄附願
一、小學校備品
價額金貳百圓也
亡祖母カツノ遺志ニヨリ寄附致度候間御許可相成度此段奉願上候也

大正十二年十一月十五日
福田七右衛門
栗野町長代理助役安發清作殿
寄附願
一、金五百圓也
右栗野第二尋常高等小學校備品費中へ寄附致シ度候間御受入相成度此段相願候也

大正十二年十一月四日
元栗野第二尋常高等小學校長

栗野町長代理助役安發清作殿

第六號
一、大正十一年度本町歳入出決算報告ノ件

△原案可決

第七號
一、開久保田用水委員死亡報告ノ件
用水委員中枝武雄大正十二年四月二十二日死亡
全 福田七右衛門大正十二年七月十三日死亡

△報告

第八號
一、開久保田用水委員選舉ノ件
▲福田七右衛門、中枝武 當選

第二號 (左記)
一、金貳千四百九拾圓也
大正十二年度縣稅戶數割本町配當額下半年期分
一、金五百九拾九圓也
大正十二年度縣稅戶數割本町配當額下半年期分
右各納稅義務者ニ對シ左ノ通り賦課セントス

大正十二年度縣稅戶數割下半年期分賦課表
一、所得額ニ依ル賦課金千五百七拾壹圓參錢
所得金壹圓ニ付金四厘
二、住家箇數ニ依ル賦課金九拾壹圓六拾錢

追加計金七百貳拾五圓
歳出計金參萬七千四拾圓
第二號 補助費金五百圓
追加計金五百圓
追加計金四萬八千百拾貳圓

第六號 (左記)
一、金六萬百六拾九圓 歳入決算高
一、金五萬九千九百五拾五圓 歳入決算高
歳入出差引金八千貳百九圓八拾壹錢
大正十二年度ニ繰越

彙報

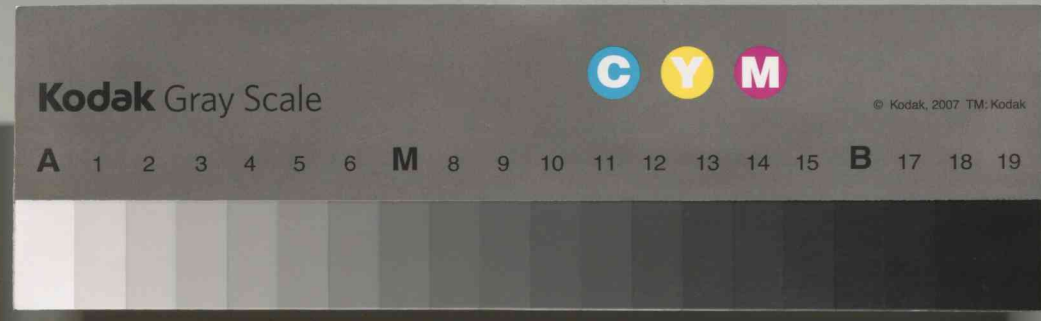
◎十一月十六日消防旗樹立式ヲ栗野第一尋常高等小學校講堂ニ於テ開キタリ當日ノ祝辭左ノ如シ
人家密集ノ度ヲ加フルニ從ヒ火災ノ頻發スルハ免レザル所ニシテ防火設備ノ完全ニスベキ理由モ茲ニ在テ存ス本町消防ノ事漸次整頓シツアルハ最モ喜ブ可ク本日茲ニ消防旗ノ樹立式ヲ舉グルニ際シ諸君ノ來會ヲ待タルニ甚ダ欣幸トスル所ナリ夫レ旗ナルモ

榎木武雄

四

五





ノハ古昔戦場ノ標識トシ旗影ノ曉天ニ靡クヲ見テハ
 七氣類ニ既盛ヲ極メタルノ實例歴史ニ散見スル所タ
 リ又神社々頭ニ翻シタル風風ヲ聞キテハ何人カ崇嚴
 ト敬虔ノ念ニ打タレザランヤ昔ハ大迦葉刹竿ヲ倒シ
 テ世尊微笑シ我方正法眼藏ハ汝之ヲ得タリト宣ヘリ
 一竿ノ誰カ意義無シト云フモノゾ而テ消防旗ハ清
 防ノ使命ト意義トヲ象徴スルモノナリ消防手ノ節制
 訓練已後一層ノ精彩ヲ加ヘ本日ノ樹立式ヲ舉行セル
 ノ意ニ副フベキアルハ疑ヲ容レザル所也謹テ之ヲ式
 辭ト爲ス

大正十二年十一月十六日
 栗野町消防組頭落合幸作

天高ク馬肥ユルノ好日ニ於テ本町消防旗ノ樹立式ヲ
 舉グラレ不肖亦其席末ヲ汚スノ光榮ヲ得タリ何ゾ感
 愾ニ堪ニベケンヤ夫レ消防ノ組織粗ヨリ密ニ簡ヨリ
 繁ニ漸次改善進轉シツアルハ最モ喜ブベキ事實ニ
 シテ高臥安眠ヲ得ル所以ノモノ消防機關完備ノ賜ナ
 リト云フモ溢美ノ言ニ非ルヲ信ズ聊カ雜辭ヲ述ベテ
 祝辭トナス

大正十二年十一月十六日
 福田七右衛門

經年訓練ノ度ヲ加ヘ且ツ消防手其ハ動作並ビニ
 奮氣天ヲ衝クモノアリ是レ大ニ喜ブベシ然レトモ世
 運ノ進歩ニ伴フテ家屋建築法モ變化シ大度高樓淺雲
 ノ觀有ルモノアリ自ゾカラ消防ノ技術モ變遷セザル
 ヲ得ズ故ニ消防手諸君一層々奮勵シテ技能ヲ磨シ
 他日ノ大成ヲ期セラレンコトヲ一言以テ慶賀ニ且ツ
 囑望スル所以也

大正十二年十一月十六日
 栗野町長代理助役安發清作

本日消防旗樹立式ニ方リ告諭ノ辭ヲ發セラレ生等消
 防ニ携ハルモノ、均ク服膺スベキ至言タリ想フニ平
 時ニ在リテ訓練ヲ請ミ非常時ニ能ク統一節制ヲ保チ
 其技能ヲ遺憾無ク發揮スルハ或ハ災害ヲ未發ニ防ギ
 或ハ災害ヲ輕減スルコトヲ得其術ヲ効果ノ偉ナル
 ハ茲ニ嗚々ヲ要セザルナリ生等倍々奮勵努力シ告諭
 ニ副フベキヲ期ス之ヲ以テ謹テ答辭トナス

大正十二年十一月十六日
 栗野消防組役員總代谷津嘉一郎

栗野町農會、栗野實業補習學校、栗野青年會聯合農
 作物第一回品評會授賞式十一月十八日第一學
 校講堂ニ於テ舉行シ入江郡農會長、祝辭及ビ成績表
 左ノ如シ

學 校	計	一等	二等	三等	四等	計
青年會	八九	一	二	一〇	二一	三四
農 會	五六	二	四	三	一一	二一
學 校	一九	一	二	二	三	七
計	一六四	三	八	一五	三六	六二

祝 辭

栗野町農會、栗野實業補習學校、栗野青年會聯合農
 作物品評會審査終了シ本日ヲ以テ授賞授與ノ式ヲ舉
 グルニ當リ一言所懐ヲ開陳スルノ機會ヲ得タルハ最
 モ満足トスル所ナリ惟フニ食糧ノ獨立ハ我邦多年ノ
 懸案ニシテ殊ニ晩近痛切ニ其ノ必要ヲ感スルニ至レ
 リ而モ之カ解決ハ一ニ生産ノ増殖ニアルヤ言フ俟タ
 サ所ナリト雖モ經濟界ノ變遷 我カ農業界ニ甚大
 ノ影響ヲ及ホシ從テ少費多獲ヲ期スルニ非ラサレハ
 其目的ヲ達成スル所ニ至難ノ事ニ屬ス

栗野町農會等ニ於テ、意ヲ盡シ致シ各種農作物ヲ蒐
 集シ互ニ研究琢磨長補短ノ途ヲ講セントス實ニ其
 當ヲ得タルノ施設ト云フヘシ

今出品物ヲ通覽スルニ優良ノ出品アリ進歩ノ跡見ル
 ヘキモノアルハ意ヲ強スルニ足ルト雖モ尙改良ノ余
 地アルモノ、如シ當業者諸氏一層奮勵以テ他日ノ大
 成ヲ期シ自他ノ福利ヲ上進セラレンコトヲ一言希望
 ヲ叙シテ祝辭トナス

大正十二年十一月十八日
 上都賀郡農會長從七位 入江 操

答 辭

本日ノ佳辰ヲトシ聯合農作物品評會授賞授與式ヲ舉
 行セラル、ニ當リ多數來賓諸君ノ臨場ヲ辱シ且ツ優
 渥ナル訓辭ヲ以テセラル光榮何物カ之レニヌギン夫
 レ農一國家興隆ノ根本ニシテ社會百般ノ事相ミナ何
 レモ密接ノ關係ヲ有セザルハナシ爾今層一層農事ノ
 改良ニ勉メ本日ノ御訓諭ニ酬ユル處アラントス燕言
 ヲベテ答辭トナス

大正十二年十一月十八日
 受賞者總代 廣田 元 一

過般ノ震災ニ付救済ノタメ努力シテ栗野町分會粟
 野町青年團ニ對シ栗野町ヨリ左記感謝狀ニ添ヘテ各
 恩勞台貳百圓ヲ十二月十八日付ヲ以テ贈リタリ



栗野町報 第十七號

感謝狀

(各通)

栗野町青年會

本年九月一日帝都ヲ中心トセル激震ハ振古未嘗有ノ大慘劇ニシテ家屋ノ倒潰猛火ノ熾燒相接テ起リ條忽トシテ帝都ノ大半ヲ焦土ト化セリ死者無數ニシテ生者亦食無ク家無ク泉然自失シテ其過飯スル所ヲ知ラズ斯ノ危急存亡ノ秋ニ方テ青年會ト分會ハ打テ一團ノ救護班ヲ組織シ直チニ上京シテ救護ノ任ニ當リ或ハ給與品ノ配給ニ努メ此ノ間窮苦欲乏ニ堪ヘテ其任務ヲ全フシ其郷ニ在ルモノハ救恤金品ノ募集ニ輸送ニ日夜奔走シ各般ニ涉リテ好成績ヲ收メ得タリ是レ乃チ同胞の感情ノ高潮シ相愛ノ實ヲ擧グタルモノニシテ深ク稱揚ニ値スルモノト謂フ可シ茲ニ其梗概ヲ録ルシ謹テ感謝ノ意ヲ表ス

大正十二年十一月十八日

栗野町長代理助役安發清作

○十一月二十四日午前十一時當町大字中栗野野王山妙見寺ニ於テ町主催トナリ本町出身縁故者ニシテ震災慘死者ノ追悼ノタメニ諸山ノ尊宿ヲ屈請シ遺族名譽

以上二十二名

齋藤久次郎
天笠ワカ

九月一日ニ突發セル激震ハ古今未嘗有ト稱セラレ幾多ノ生靈ヲ奪ヘリ此ノ慘狀ヲ聞クモノ悚然トシテ廢ニ栗ヲ生ジ之レヲ見ルモノ顔ヲ掩フテ奔ラザルモノアラシヤ悲ト云フモ未ダシ懣ト云フモ盡クスベカラズ本町不幸ニシテ二十二名ノ慘死者ヲ出セリ其遺族者ニ在リテハ鵠ノ寸斷シ骨ノ肉ヲ離ルノ情ニ堪ヘザラン何ゾ獨リ遺族ニ止マランヤ其知ルト知ラザルトニ論無ク哀痛深刻ト令昔ナ然ラザルハナシ然リト雖モ靜カニ之ヲ思フニ遺般ノ出來事ハ不可抗的ノ天災ニシテ人力ノ亦如何トモズベカラザルモノアリ一タビ去テ死者還ス可カラズ今ニ於テ處スルノ途ハ厚ク之ヲ弔フノ一事有ルノミ本町此ノ見地ニ立テ正ニ本日ヲシテ慘死者ノ爲メニ莊嚴ノ追悼會ヲ嚴修ス諸君ノ多ク法筵ニ列セラレタルハ欣幸トスル所ナリ夫レ法水波デ盡クルコト無シ佛力用テ窮マラズ無盡ノ法水ヲ洒デ長夜ノ迷雲ヲ照ラシ早ク常樂ノ覺路ニ遊パンコト

必セリ此レヲ以テ遺族者ハ心ヲ撫シテ慰ムル所有ツテ可ナルニ似タリ司會者トシテ一言在天ノ英靈ニ奉告ス尚クハ勇躍トシテ來リ饗ケヨ

大正十二年十一月二十五日

栗野町長代理助役安發清作

栗野町會ハ震災慘死者ノ英靈ニ對シ泰ク追弔ノ意ヲ表ス

大正十二年十一月二十五日

栗野町會議員總代關本美保

大正十二年十一月二十九日印刷

大正十二年十一月三十日發行

栃木縣上都賀郡栗野町役場内

編輯兼 安發清作

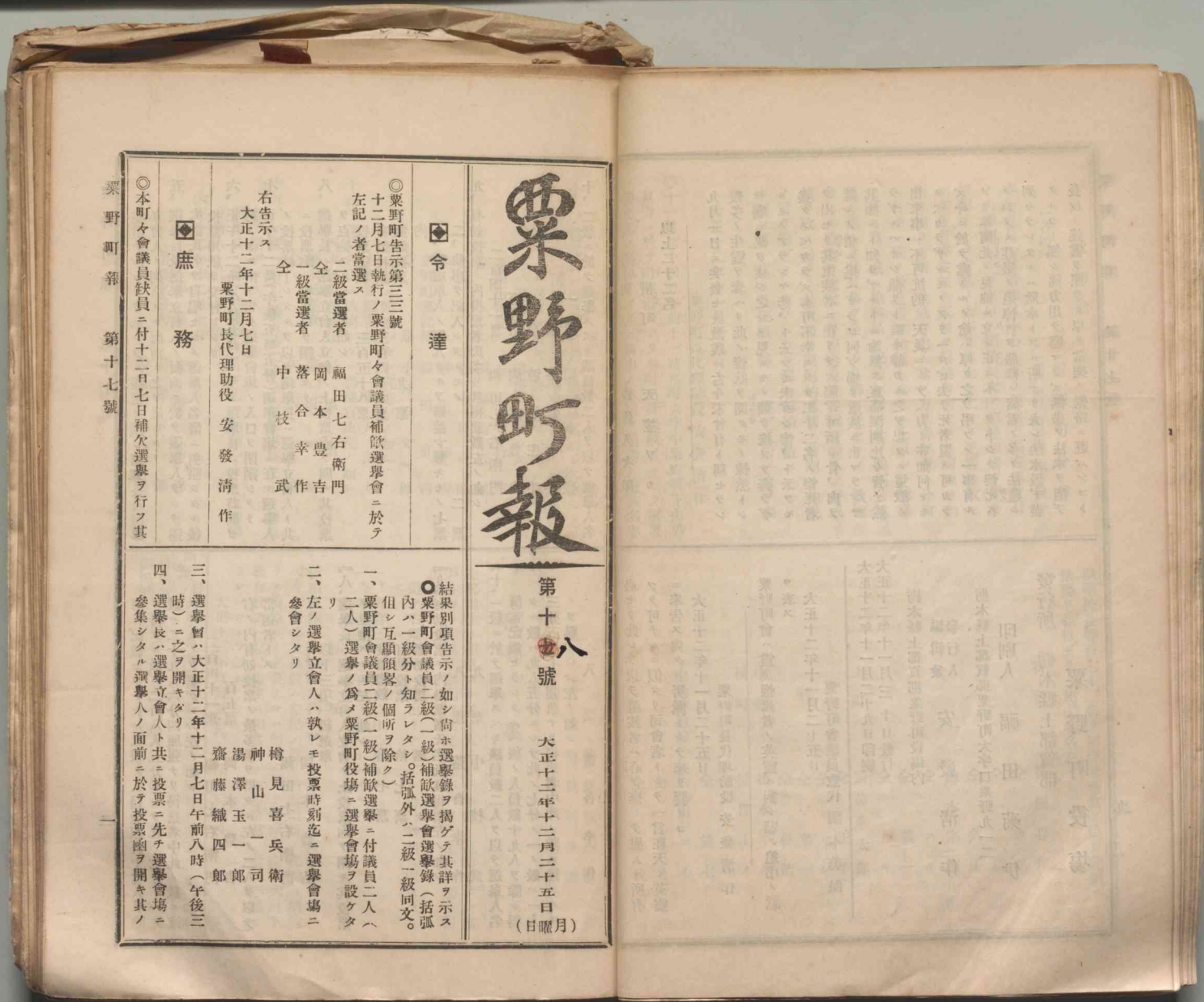
發行人 福田菊伊

印刷人 福田菊伊

發行所 栃木縣上都賀郡

栗野町役場

栗野町報 第十七號



粟野町報

第十八號

大正十二年十二月二十五日
(日曜月)

令 達

◎粟野町告示第三號
十二月七日執行ノ粟野町々會議員補缺選舉會ニ於テ
左記ノ者當選ス

- 二級當選者 福田七右衛門
- 全 一級當選者 岡本豊吉
- 全 落合幸作
- 中 枝武

庶 務

右告示ス
大正十二年十二月七日
粟野町長代理助役 安發清作

◎本町々會議員缺員ニ付十二月七日補欠選舉ヲ行フ其
粟野町報 第十七號

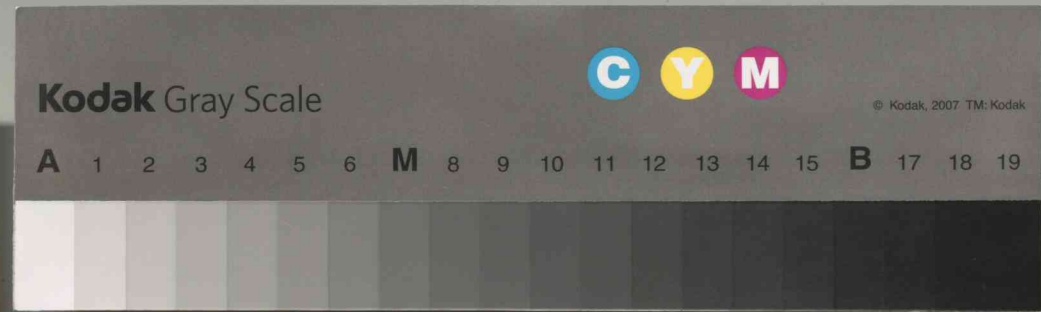
結果別項告示ノ如シ尙ホ選舉録ヲ掲ゲテ其詳ヲ示ス
◎粟野町會議員二級(一級)補缺選舉會選舉録(括弧
内ハ一級分ト知ラレタシ。括弧外ハ二級一級同文。
但シ互願願者ノ個所ヲ除ク)

- 一、粟野町會議員二級(一級)補缺選舉ニ付議員二人ハ
二人ノ選舉ノ爲メ粟野町役場ニ選舉會場ヲ設ケタ
リ
- 二、左ノ選舉立會人ハ執レモ投票時刻迄ニ選舉會場ニ
參會シタリ
- 樽見喜兵衛
- 神山一司
- 湯澤玉一郎
- 齋藤織四郎

三、選舉會ハ大正十二年十二月七日午前八時(午後三
時)ニ之ヲ開キタリ

四、選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ニ先チ選舉會場ニ
參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ





栗野町報 第十七號

空虛ナルコトヲ示シタル後蓋ヲ鎖シ選舉長及選舉立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

五、選舉長及選舉立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ逐次其氏名ヲ自唱セシメ選舉人名簿ニ對照シタル後投票用紙ヲ交付シタリ

六、正午十二時(午後五時)ニ至リ選舉長ハ投票時間ヲ終リタル由テ告テ選舉會場ノ入口ヲ閉鎖シタリ

七、正午十二時(午後五時五分)選舉會場ニ在ル選舉人ノ投票終了シタルヲ以テ選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票函ノ投票口ヲ鎖シタリ

八、選舉長ハ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ其投票ヲ点檢スルニ左ノ如シ

投票總數 三百五十八票
有効投票 三百四十九票
無効投票 九票

九、被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ七票
二、他事ヲ記入シタルモノ 二票

九、有効投票ノ内得票者氏名及其得票數左ノ如シ

二百四十一票 福田七右衛門
百五票 岡本豊吉
一票 渡邊庄平
一票 落合幸作
一票 岡本豊

十、二級ニ於テ選舉スベキ議員數二人ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル二級ノ人員數四百七十七人ヲ除シ得タル數ハ二百八十八人五分ニシテ此ノ七分ノ一ノ數ハ二十九人六分四厘強ナリ得票者中此ノ數ニ達スルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

二百四十一票 福田七右衛門
百五票 岡本豊吉
右ノ内有効投票ノ最多數ヲ得タル左ノ二人ヲ以テ當選者トス

以下三項一級選舉

八、選舉長ハ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ其投票ヲ点檢スルニ左ノ如シ

投票總數 拾七票
有効投票 拾七票
無効投票 無シ

九、有効投票ノ内得票者氏名及其得票數左ノ如シ

八票 落合幸作

十、一級ニ於テ選舉スベキ議員數二人ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル一級ノ人員數十九人ヲ除シ得タル數ハ九人五分ニシテ此ノ七分ノ一ノ數ハ一人三分五厘七毛強票ナリ得票者中此ノ數ニ達スルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

八票 落合幸作

九票 中枝武

十一、選舉長ハ投票ノ有効ノ無効ヲ區別シ各別ニ之ヲ括束シ(選舉長ハ投票ノ有効ヲ括束シ)更ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ之ヲ封印シタリ

十二、左ノ者ハ選舉會場ノ事務ニ從事シタリ

栗野町書記 谷津行三
全 廣瀬長市郎
全 中長一郎
全 神田重樹
栗野町書記補 福田重勝
全 小曾戸文一郎
十三、選舉會場ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

上都賀郡書記 小太刀良夫
十四、選舉會場ニ入場シタル警察官吏左ノ如シ

栃木縣巡查部長 杉原禎一
全 福田西造
全 矢板金重
十五、午後一時(午後五時二十分)選舉事務ヲ了シ選舉會ヲ閉ヂタリ

選舉長ハ此ノ選舉録ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス

大正十二年十二月七日

選舉長 安發清作
選舉立會人 湯澤玉一郎 神山一郎 司

栗野町報 第十七號

二

兵 事

全 齋藤織四郎
全 樽見喜兵衛
(自署)

左記出生ニ相當スル者ハ大正十三年徵兵適齡者ニ付其戸主ヨリ徵兵適齡届ヲ大正十三年一月三十一日迄ニ届出ベシ

追テ右期間内ニ届出ヲナサザル時ハ科料ニ處セララルベシ

一、明治三十六年十二月二日ヨリ
一、明治三十七年十二月一日マデ

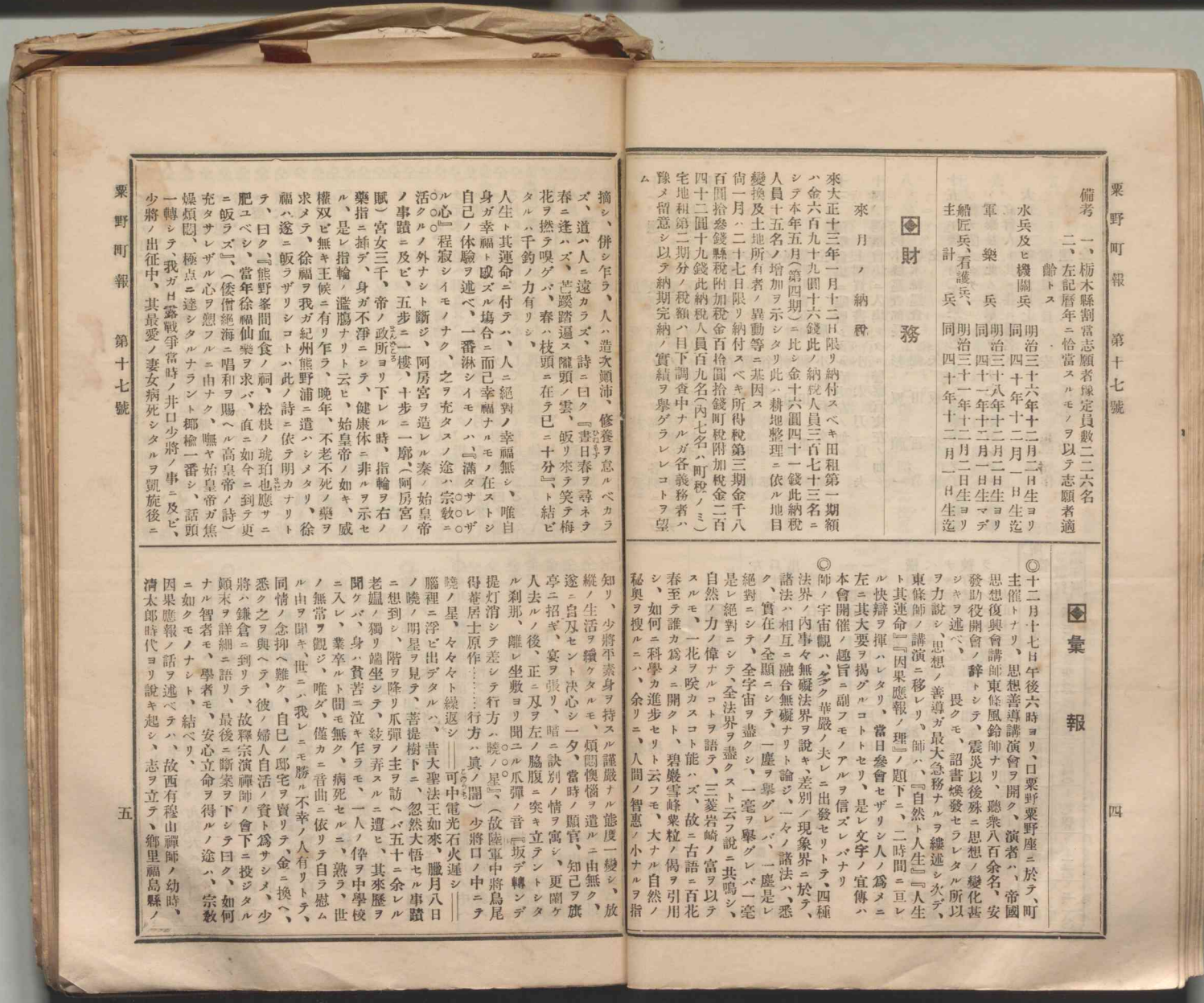
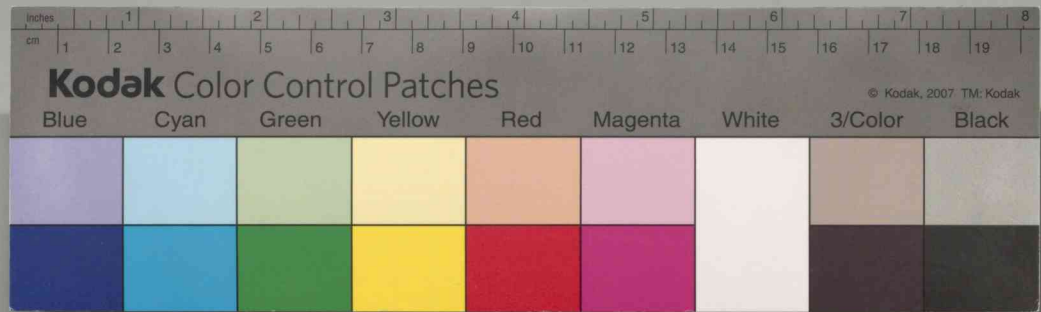
海軍

横須賀鎮守府徵募區内ニ於テ大正十三年度徵募セラルベキ志願兵及員數ハ左記ノ通り四面環海ノ我國ハ精銳ナル海軍兵ノ必要ナルハ勿論ニシテ國家自衛ノ大計ト被存就テハ左記出生ニ相當スル青年諸君ハ奮テ志願セラレシコトヲ望ム

大正十三年度海軍志願兵採用兵種員數

所屬	兵種	員數	合計
鎮守府	水兵	1,000	
機關兵	軍樂兵	150	
船匠兵	看護兵	40	
主計兵		110	
		2,100	





栗野町報 第十七號

栗野町報 第十七號

備考 一、栃木縣割當志願者決定員數二二六名
 二、左記曆年ニ恰當スルモノヲ以テ志願者適
 齡トス

水兵及ヒ機關兵	明治三十六年十二月一日生ヨリ 同四十年十二月一日生ヨリ
軍樂兵	明治三十八年十二月一日生ヨリ 同四十二年十二月一日生ヨリ
船匠兵、看護兵、 計兵	明治三十一年十二月一日生ヨリ 同四十年十二月一日生ヨリ

來月ノ納稅

來大正十三年一月十二日限リ納付スベキ田租第一期額
 ハ金六百九十九圓十六錢此ノ納稅人員三百七十三名ニ
 シテ本年五月(第四期)ニ比シ金六百四十一錢此納稅
 人員十五名ノ増加ヲ示シタリ此ハ耕地整理ニ依ル地目
 變換及土地所有者ノ異動等ニ基因ス
 尙一月ハ二十七日限リ納付スベキ所得稅第三期金千八
 百圓拾參錢稅附加稅金百拾圓拾錢町稅附加稅金二百
 四十二圓十九錢此納稅人員百九名(内七名ハ町稅ノミ)
 宅地租第二期分ノ稅額ハ目下調査中ナルガ各義務者ハ
 豫メ留意シ以テ納期完納ノ實績ヲ擧ゲラレトコトヲ望
 ム

彙報

十二月十七日午後六時ヨリ、口栗野栗野座ニ於テ、町
 主催トナリ、思想善導講演會ヲ開ク、演者ハ、帝國
 思想復興會講師東條風鈴師ナリ、聽衆八百余名、安
 發助役開會ノ辭トシテ、震災以後殊ニ思想ノ變化甚
 シキヲ述ベ、畏クモ、詔書煥發セラレタル所以
 フ力説シ、思想ノ善導ガ最大急務ナルヲ述シテ、
 東條師ノ講演ニ移レリ、師ハ、「自然ト人生」ニ人生
 ト其運命「因果應報ノ理」ノ顯下ニ、二時間ニ亘レ
 ル快辯ヲ揮ハレタリ、當日發會セザリシ人ノ爲メニ
 左ニ其大要ヲ掲グルコトセリ、是レ文字ノ宣傳ハ
 本會開催ノ趣旨ニ副フモノアルヲ信ズレバナリ
 ◎師ノ宇宙觀ハ、多ク華嚴ノ夫レニ出發セリトテ、四種
 法界ノ内事々無礙法界ヲ説キ、差別ノ現象界ニ於テ、
 諸法ハ相互ニ融合無礙ナリト論ジ、一々ノ諸法ハ、悉
 ク實在ノ全顯ニシテ、一塵ヲ舉グレバ、一塵是レ
 絕對ニシテ、全宇宙ヲ盡クシ、一毫ヲ舉グレバ、一毫
 是レ絕對ニシテ、全法界ヲ盡クスト云フ説ニ共鳴シ、
 自然ノ力ノ偉ナルコトヲ語テ、三藐尊ノ富ヲ以テ
 スルモ、一花ヲ咲カスト能ハズ、故ニ古語ニ百花
 春至テ誰カ爲メニ開カト、碧巖雪峰粟粒ノ例ヲ引用
 シ、如何ニ科學カ進步セリト云フモ、大ナル自然ノ
 秘奧ヲ搜ルニハ、余リニ、人間ノ智慧ノ小ナルヲ指

摘シ、併シ乍ラ、人ハ造次顛沛、修養ヲ怠ルベカラ
 ズ、道ハ人ニ遠カラズ、詩ニ曰ク『晝日春ヲ尋ネテ
 春ニ逢ハズ、芭蕉踏遍ス隨頭ノ雲、飯リ來テ笑テ梅
 花ヲ拈テ嗅グバ、春ハ枝頭ニ在テ已ニ十分』ト結ビ
 タルハ千鈞ノ力有リシ、
 人生ト其運命ニ付テハ、人ニ絕對ノ幸福無シ、唯自
 身ガ幸福ト感ズル場合ニ而已幸福ナルモノ在ストシ
 自己ノ體驗ヲ述ベ、一番淋シイモノハ、滿タサレザ
 ル心〇程寂シイモノナク、之ヲ充タスノ途ハ、宗教ニ
 活クルノ外ナシト斷ジ、阿房宮ヲ造レル泰ノ始皇帝
 ノ事蹟ニ及ビ、五步ニ一樓、十步ニ一廊、阿房宮ノ
 賦〇宮女三千、帝ノ政所ヨリ下レル時、指輪ヲ右ノ
 薬指ニ挿テ、身ガ不淨ニシテ、健康体ニ非ララ示セ
 ル、是レ指輪、濫賜ナリト云ヒ、始皇帝ノ如キ、威
 權双ビ無キ王候ニ有リ乍ラ、晩年、不老不死ノ藥ヲ
 求メテ、徐福ヲ我が紀州熊野浦ニ遣ハシメタリ、徐
 福ハ遂ニ飯ラザリシトハ此ノ詩ニ依テ明カナリト
 テ、曰ク『熊野峯間血食ノ祠、松根ノ琥珀也應サニ
 肥ユベシ、當年徐福仙樂ヲ求バ、直ニ如今ニ到テ更
 ニ飯ラズ』、(倭僧經海ニ唱和ヲ賜ヘル高皇帝ノ詩)
 充タサレザル心ヲ慰フルニ由ナク、曠々始皇帝ガ焦
 燥煩悶、極點ニ達シタルナラント椰櫛一番シ、話頭
 一轉シテ、我が日露戰爭當時ノ井口少將ノ事ニ及ビ、
 少將ノ出征中、其最愛ノ妻女病死シタルヲ凱旋後ニ

五



栗野町報 第十七號

六

寒村ヲ出デ、苦學十數年ノ後漸ク、東都一寺ノ住職トナリ、飯省スレバ、母ノ老衰シテ、僅カニ、村人ノ情ケニ依リ、村外レノ蒲鉾小屋ニ雨露ヲ凌ギ、フヤ食ハズニ、肉落チ、骨隆ク、餓鬼道ノ人モ斯クヤト思フ斗リ、菘ヲ垂レテ戸ニ換ヘタリ、師、外ニ倍ミ、清太郎ナリト連呼シ、訪ヘバ、内ニハ、維枯レタル聲ニテ應ト對ヘレドモ、出デ來ラズ、星ノ光リニ隙穴ヨリ覗ケバ、襟布ダモ無ク、肩ニ僅カニ一枚ノ布ヲ蔽フル而已ナルニ、胸ツブレ、涙ノみ瀉キ出デ、暫シ言葉モ無ク、嗟然自失ノ態ナリニ、内ヨリ「妾ハ、清太郎トイフ子ハ、無イ、昔ハ、其ノ様ナ子モ有ツタナレド、十何年前ニ修業ニ出デ、日本一ノ名僧トナラネバ、飯ヲナイト云フテ出タ儘、未ダモ飯ヲナイ」トキツバリ言ヒ放テ、マタ横ニ偃シテ、起キントモセザルニ、稔山ハ、自己ノ小成ニ安ンシタルヲ愧デ、振リ分ケ荷物ヲ小屋ニ投ゲ入レ、悄然トシテ元來ノ道ヘ引返ス、北國ノ空寒ク、折柄降り出セル雪ハ紛々トシテ、中天ニ懸ル月ノ影ノ散リ來ルニ似、寒清骨モ凍ラン計リ、香川景樹ノ歌ニ曰ク照る月の影の散り來る心地して夜行く袖にちまる雪かな遙ニ作許シテ吳レト、唯一語、ワツト計リニ滿鉢見テ、作許シテ吳レト、唯一語、ワツト計リニ滿鉢小屋ノ前ニ泣カザルニ、無カリキ、清太郎、哀切凄婉聞ク後名僧留置ヲ訪ネテ、師、幾年、能ニ日本一ノ名僧

眼藏(書名)家ト稱セラレ、永平大本山ノ管長トナリ、勅特賜號ヲ授ケラル、ニ至レリト、師ハマタ涅槃經ノ語ヲ引テ、一人出家シテレバ、九族天ニ生ルト結ビタルハ、前後照應ノ妙ヲ極メタリ

◎全十九日中栗野第二小學校ニ於テ開會、安發助役町村長會議ニ出席シタルタメ、谷津書記、廣瀬書記、福田書記補出張、東條師ハ、諸行無常ナル所以ヲ、古今東西ノ例ヲ引キテ説述、頗ル感動ヲ與ヘタリ、終テ震災當時ノ映畫活動寫真有リ、來會者六百名ニ達シタリ、

東條師ノ講演ハ宗教ヲ經トシ、文學ヲ緯トシタル、趣味饒キモノニシテ、思想善導ニ於テ、若干ノ收穫ヲ齎セルモノト思フ。

(文實在記者)

◎前栃木縣會議員福田富士氏ハ農商務省ヨリ十二月五日付ヲ以テ栃木縣地方森林會議員ニ任命セラレタリ

◎前項思想善導講演會開催ヲ翼賛セラレ該費用ノ中ヘ左記ノ通り寄附アリタルニ付茲ニ掲ゲテ謝意ヲ表ス

(次第不同)

金五圓	福田七右衛門	金二圓	増山 繁作
金三圓	落合 幸作	全	金子 半七郎
金二圓	中枝 武	全	澤村 榮太郎
全	大澤初五郎	全	神山 左門
全	淺野光一郎	全	小曾 貞吉
全	小曾 貞吉	全	湯澤 耕作
全	阿部 興三郎	全	福田 與四郎
全	小林 伊三郎	全	湯澤 耕作
全	福田 勝三郎	全	岩出 竹三郎
全	伊澤 勝三郎	全	湯澤 貞四郎
全	増山 欣三	全	岩井 與作
全	川田 久五郎	全	計金九拾五圓也
全	西村 徳平	全	(八拾六名)

大正十二年十二月二十三日印刷
大正十二年十二月二十五日發行

栃木縣上都賀郡栗野町役場内
編輯兼 安 發 清 作
發行人 安 發 清 作

發行所 栃木縣上都賀郡
栗野町役場

印刷人 福田 菊 伊

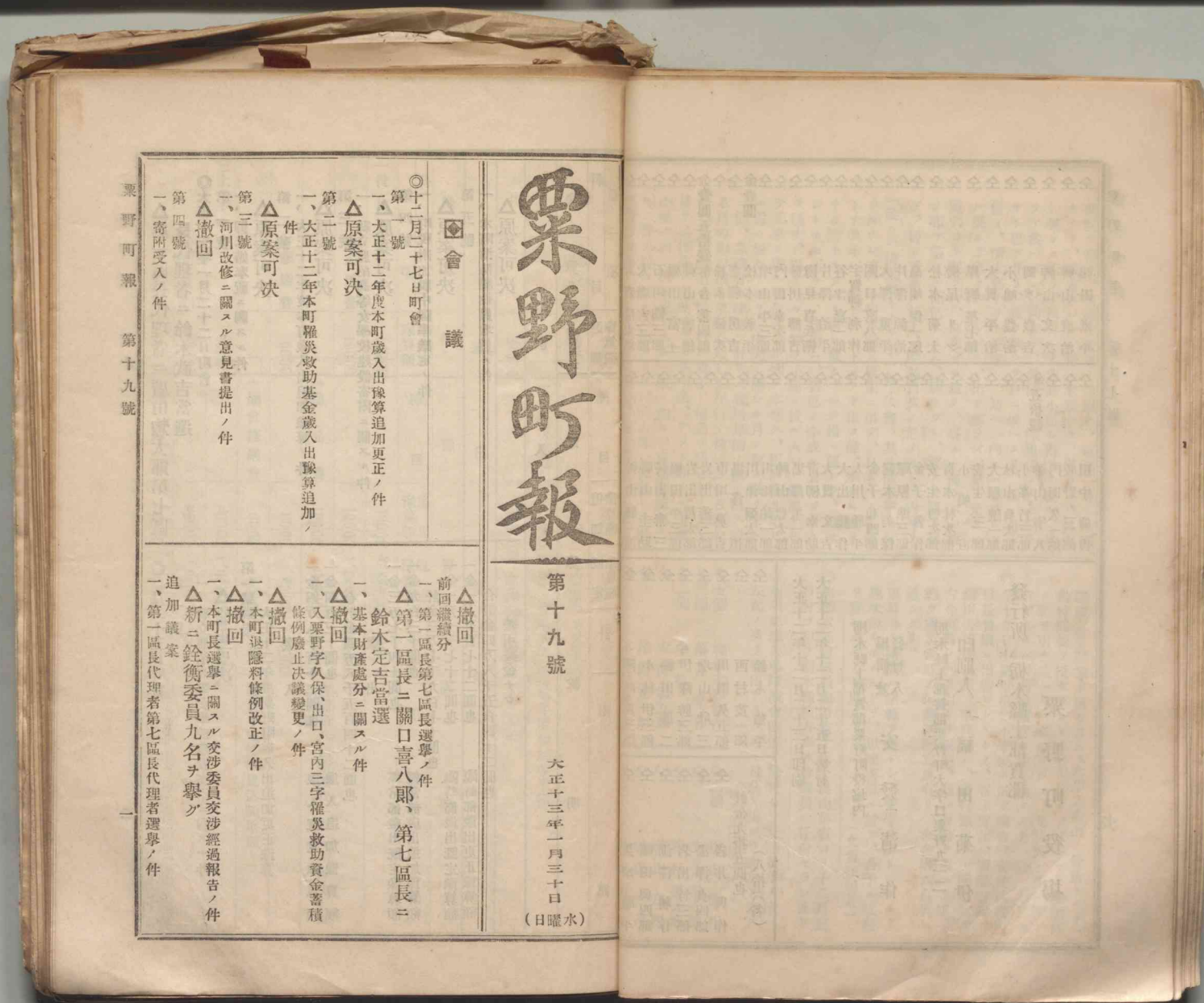
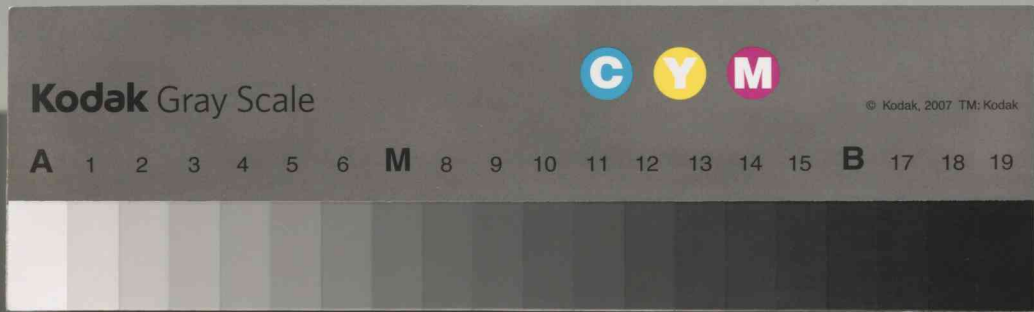
栗野町報 第十七號

大正十二年十二月二十三日印刷
大正十二年十二月二十五日發行

發行所 栃木縣上都賀郡
栗野町役場

印刷人 福田 菊 伊





粟野町報

第十九號

大正十三年一月三十日

(日曜水)

會 議

○十二月二十七日町會

第一號

一、大正十二年度本町歳入出豫算追加更正ノ件

△原案可決

第二號

一、大正十二年本町罹災救助基金歳入出豫算追加ノ件

△原案可決

第三號

一、河川改修ニ關スル意見書提出ノ件

△撤回

第四號

一、寄附受入ノ件

粟野町報 第十九號

△撤回

前回繼續分

一、第一區長第七區長選舉ノ件

△第一區長ニ關口喜八郎、第七區長ニ鈴木定吉當選

一、基本財産處分ニ關スル件

△撤回

一、入粟野字久保、出口、宮内三字罹災救助資金蓄積條例廢止決議變更ノ件

△撤回

一、本町退隱料條例改正ノ件

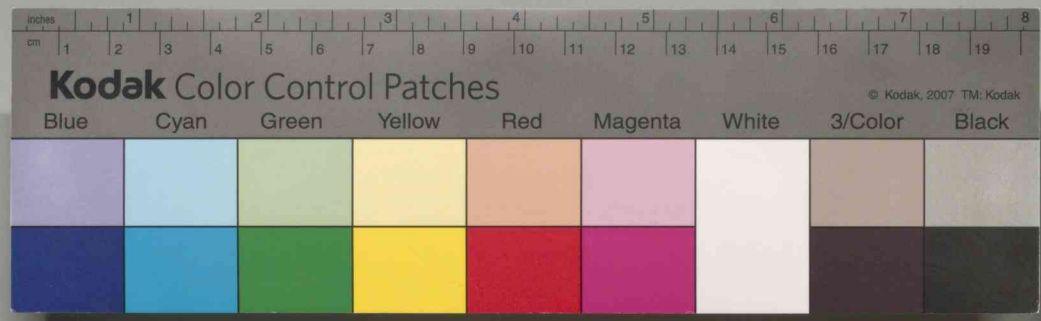
△撤回

一、本町長選舉ニ關スル交渉委員交渉經過報告ノ件

△新ニ銓衡委員九名ヲ舉グ

一、第一區長代理者第七區長代理者選舉ノ件

追加議案



栗野町報 第十九號

●一月二十五日町會

第一號

一、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件

△修正可決

第一號議案

大正十二年度栗野町歳入出追加更正豫算

歳入

一金四万八千百十二圓也

歳入既定豫算額

一金四百三十圓也

歳入追加豫算額

合計金四万八千五百四十二圓也

歳出

一金三万七千四十圓也

經常部歳出既定豫算額

一金九百三十圓也

經常部歳出追加豫算額

計金三万七千九百七十圓也

一金一万一千七十二圓也

臨時部歳出既定豫算額

一金一万五百七十二圓也

臨時部歳出更正豫算額

合計金四万八千五百四十二圓也

差引殘金ナレ

△原案可決

一、本町消防組役員増員ノ件

第五號

△原案可決

一、町稅附加稅中課率議定ノ件

第四號

△原案可決

一、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件

第三號

△原案可決

一、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件

第一號

△原案可決

一、御成婚奉祝ニ關スル件

第一號

◎大正十三年一月二十二日町會

長代理者ニ鈴木武吉當選

△第一區長代理者ニ廣田惣太郎第七區

栗野町報 第十九號

科 算 目	歳 入	歳 出	計	附 記
八線越金	四〇〇〇〇	一前年度繰越金	四〇〇〇〇	
一線越金	四〇〇〇〇	一前年度繰越金	四〇〇〇〇	
計	八〇〇〇〇	一前年度繰越金	八〇〇〇〇	
豫算額	七四七〇〇	豫算額	七四七〇〇	
追加額	五三〇〇〇	追加額	五三〇〇〇	
計	一二七七〇〇	計	一二七七〇〇	
既定額	七四七〇〇	既定額	七四七〇〇	
追加額	五三〇〇〇	追加額	五三〇〇〇	
計	一二七七〇〇	計	一二七七〇〇	
經常部	七四七〇〇	經常部	七四七〇〇	
臨時部	五三〇〇〇	臨時部	五三〇〇〇	
計	一二七七〇〇	計	一二七七〇〇	
一役場費	一〇〇〇〇	四需用費	一〇〇〇〇	
二土木費	五〇〇〇〇	五修繕費	二〇〇〇〇	
三道路費	五〇〇〇〇	一應舎修繕費	一〇〇〇〇	
一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
二十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	二十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
二十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	二十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
二十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	二十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
二十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	二十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
二十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	二十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
二十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	二十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
二十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	二十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
二十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	二十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
二十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	二十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
二十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	二十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
三十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	三十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
三十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	三十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
三十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	三十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
三十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	三十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
三十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	三十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
三十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	三十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
三十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	三十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
三十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	三十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
三十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	三十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
三十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	三十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
四十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	四十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
四十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	四十一、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
四十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	四十二、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
四十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	四十三、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
四十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	四十四、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
四十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	四十五、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	
四十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	四十六、御成婚奉祝ニ關スル件	一〇〇〇〇	
四十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	四十七、本町消防組役員増員ノ件	一〇〇〇〇	
四十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	四十八、町稅附加稅中課率議定ノ件	一〇〇〇〇	
四十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	四十九、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件	一〇〇〇〇	
五十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	五十、大正十二年度本町歳入出追加豫算ノ件	一〇〇〇〇	





科目	算入	算出	増減	附記
第一尋常高 四等小学校校費	三需用費	1,500	1,500	
	一備用品費	200	200	
	七點燈費	200	200	
	一修繕費	200	200	
第二尋常高 一尋常小学校校費	三需用費	2,000	2,000	
	一備用品費	200	200	
	七點燈費	200	200	
	一修繕費	200	200	
五等尋常高 一尋常小学校校費	三需用費	1,000	1,000	
	一備用品費	200	200	
	七點燈費	200	200	
	一修繕費	200	200	
七實業補習 七學校校費	一給料	18,000	18,000	
	一修繕費	200	200	
	七點燈費	200	200	
	一備用品費	200	200	
計		107,571.00	107,571.00	
大正十二年十二月二十七日提出	合計	107,571.00	107,571.00	
第二號議案 大正十二年度栗野町罹災救助基金歳入出追加豫算	歳入	107,571.00		
一 金百三十九圓也	歳入既定豫算額	107,571.00		
一 金四百八十七圓九十四錢也	歳入追加豫算額	0		
計 金六百二十六圓九十四錢也	歳入追加豫算額	0		
計	合計	107,571.00		
栗野町報 第十九號				



栗野町報 第十九號

科 目	豫 算		入 入		算 定		附 記
	追 加	既 定	追 加	既 定	計	附 記	
一 雜 收 入	一 寄 附 金 其他 收 入	四 八 七 九 四 四 八 七 九 四	一 寄 附 金 其 他 收 入	四 八 七 九 四 四 八 七 九 四	四 八 七 九 四 四 八 七 九 四	四 八 七 九 四 四 八 七 九 四	軍 人 分 會 青 年 會 募 集 係 震 災 救 助 寄 附 金 減 金 百 六 十 一 圓 十 八 錢 並 廉 賣 米 資 金 殘 金 三 百 二 十 六 圓 半 收 入
計		四 八 七 九 四		四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	
一 救 助 費	一 救 助 費	四 八 七 九 四	一 給 與 金 費	四 八 七 九 四 二 三 九 四	四 八 七 九 四 五 〇 〇	四 八 七 九 四 四 八 七 九 四	震 災 係 因 難 民 救 助 金 給 與 額 四 百 六 十 四 圓 此 人 員 二 百 六 十 四 人 救 護 金 支 出 金 二 十 四 圓 六 十 四 錢 其 他 雜 費 三 圓 三 十 錢
計		四 八 七 九 四		四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	
一 御 成 婚 奉 祝 關 連 事 項	一 御 成 婚 奉 祝 關 連 事 項	四 八 七 九 四	一 御 成 婚 奉 祝 關 連 事 項	四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	
計		四 八 七 九 四		四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	四 八 七 九 四	

大正十二年十二月二十七日提出

栗野町報 第十九號

東宮殿下
二 記念事業
事 業 ト シ テ 勤 儉 貯 蓄 ノ 勵 行 ヲ 爲 ス 目 的 ヲ 以 テ 御 成 婚 御 成 婚 記 念

一 賀 儀 奉 呈
赤坂離宮ニ奉呈
謹 奉 賀
御 結 婚 賀
大正十三年一月二十六日
栗野町代表者
栗野町長代理助役 安發 清作

二 祝 賀 方 法
イ 町 吏 員 町 會 議 員 區 長 名 譽 職 各 種 團 體 代 表 者 ハ 一 月 廿 六 日 午 前 九 時 各 結 社 小 學 校 ニ 參 集 學 校 ト 同 ン シ テ 式 ヲ 舉 ル コ ト
ロ 一 般 町 民 ハ 一 月 廿 六 日 午 前 十 時 三 十 分 迄 ニ 各 字 神 社 ニ 集 合 シ 奉 祝 ノ 意 ヲ 表 ス ル コ ト
ハ 一 代 表 者 ノ 賀 詞
ニ 三 萬 歲 三 唱
三 小 學 生 徒 ノ 旗 行 列
四 町 民 ノ 提 灯 行 列 (夜間)

栗野町長代理助役 安發 清作

記念勤儉貯蓄組合ヲ設立スルモノトス
イ 組合員ハ本町住民ヲ以テ組織ス
ロ 貯金額ハ一口金五十錢ト金一圓トノ二種トス
ハ 貯金ハ毎月一回トス
ニ 組合員ノ貯金ハ銀行ニ預入據置貯金トナスモノトス
ホ 組合ノ存續期間ハ大正十三年一月ヨリ五ヶ年トス



科	目	追加	既定	計	附	記
一	役場費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
二	第一尋常高等小學校費	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇		
三	第二尋常高等小學校費	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇		
四	第三尋常高等小學校費	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇		
五	第四尋常高等小學校費	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇		
六	第五尋常高等小學校費	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇		
七	第六尋常高等小學校費	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇		
八	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
九	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
十	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
十一	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
十二	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
十三	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
十四	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
十五	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
十六	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
十七	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
十八	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
十九	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
二十	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
二十一	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
二十二	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
二十三	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
二十四	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
二十五	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
二十六	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
二十七	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
二十八	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
二十九	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
三十	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
三十一	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
三十二	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
三十三	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
三十四	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
三十五	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
三十六	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
三十七	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
三十八	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
三十九	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
四十	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
四十一	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
四十二	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
四十三	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
四十四	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
四十五	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
四十六	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
四十七	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
四十八	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
四十九	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
五十	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
五十一	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
五十二	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
五十三	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
五十四	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
五十五	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
五十六	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
五十七	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
五十八	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
五十九	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
六十	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
六十一	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
六十二	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
六十三	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
六十四	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
六十五	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
六十六	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
六十七	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
六十八	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
六十九	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
七十	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
七十一	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
七十二	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
七十三	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
七十四	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
七十五	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
七十六	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
七十七	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
七十八	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
七十九	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
八十	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
八十一	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
八十二	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
八十三	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
八十四	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
八十五	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
八十六	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
八十七	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
八十八	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
八十九	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
九十	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
九十一	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
九十二	一備品費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
九十三	八雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
九十四	一備品費	一四七〇〇	一四七〇〇	一四七〇〇		
九十五	六雜費	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇		
九十六	一備品費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
九十七	六雜費	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇		
九十八	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
九十九	六尋常小學校費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		
一百	三需用費	九五〇〇	九五〇〇	九五〇〇		





栗野町報 第十九號

栗野町報 第十九號

科 目		支 出		計		科 目		支 出		計	
一 寄附金	一 縣立學校建設寄附金	一,000	700	700	3,000	一 縣立學校建設寄附金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
合 計		1,000	700	700	3,000	合 計		3,000	3,000	3,000	3,000
<p>第四號 一町稅附加稅中課率議定ノ件 大正十二年度ニ於テ追加賦課徵收スベキ附加稅中課率ヲ左ノ通り定ム 四戸數割附加稅 本稅 金一圓ニ付十二錢 追加議案 第五號 一本町消防組役員増員ノ件 本町消防組第八部ニ小頭一名ヲ増員セントス</p>											
<p>第一號 一月二十五日 一、縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件 自大正十三年度縣立鹿沼高等女學校寄附繼續年期及至大正十六年度縣立鹿沼高等女學校寄附繼續年期及支出方法 一金三千八百四十五圓 寄附金 內譯 金一千五百三十八圓 大正十三年度支出額</p>											
<p>第三號 一縣立鹿沼高等女學校建設寄附ニ關スル件 自大正十三年度縣立鹿沼高等女學校建設寄附繼續年期及支出方法 一金三千圓也 寄附金 內譯 金一千圓 大正十三年度支出額</p>											
<p>上都賀郡栗野町繼續收支計算表 大正十三年一月二十二日提出 栗野町長代理助役 安發清作</p>											
一 町費一般	一 町費一般	1,000	700	700	3,000	一 町費一般	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
合 計		1,000	700	700	3,000	合 計		3,000	3,000	3,000	3,000
<p>二雜支出 二雜 費 四七〇〇 三雜 費 四七〇〇 一雜 費 四七〇〇 計 一、〇七〇〇 雜費増額 四七〇〇 計 一、〇七〇〇 大正十三年一月二十二日提出 栗野町長代理助役 安發清作</p>											

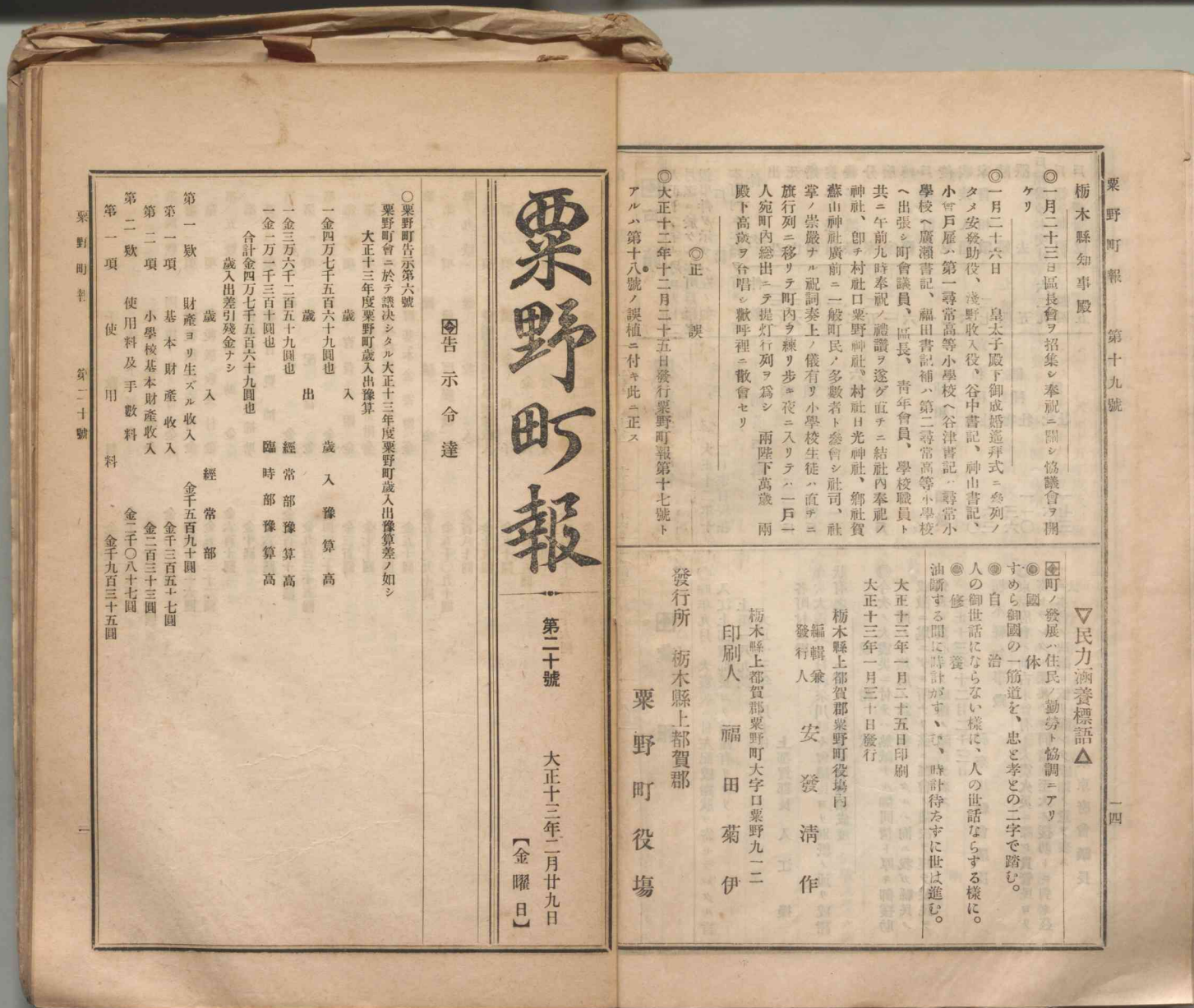


戸籍		勸業及統計		彙報	
大正十二年一月ヨリ十二月迄ニ於ケル本町戸籍取扱事件ヲ示サバ左ノ如ク	本町内ニ本籍ヲ有スル者	馬	大正十二年十二月末日現在	◎昨年九月ノ大震災ニ付左記感謝狀ヲ寄セラレタル旨入江上都賀郡長ヨリ通牒有リタリ	上第一八九號
出生	一三〇	飼養戸數	二二〇戸	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
死亡	一〇二	計	二二六戸	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
婚嫁	一〇七	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
養子	二一	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
廢家	一	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
轉籍	一六	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
親族	二一	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
家督	二七	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
離去	二七	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
隱居	四	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
戸籍謄抄本交付	六二九	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
戸籍證明	四	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日
戸籍閱覽	一五四	種別	頭數	◎今次ノ大震災ニ付テハ熱誠ナル御同情ト厚キ御援助トヲ賜ハリ焦眉ノ急ヲ救ハレタルハ洵ニ我方縣民ノ感激ニ堪エザル所ナリ茲ニ縣會ノ議決ヲ經テ縣民ヲ代表シ衷心ヨリ感謝ノ誠意ヲ表ス	大正十三年一月十日

栗野町報 第十九號

大正十四年度支出額		大正十五年支出額		大正十六年度支出額	
金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓
金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓
金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓	金七百六十九圓

科	目	大正十四年度	大正十五年	大正十六年度
一 寄附金	一 縣立學校建	一、五九六	一、五九六	一、五九六
一 寄附金	一 縣立學校建	一、五九六	一、五九六	一、五九六
一 寄附金	一 縣立學校建	一、五九六	一、五九六	一、五九六
一 寄附金	一 縣立學校建	一、五九六	一、五九六	一、五九六
一 寄附金	一 縣立學校建	一、五九六	一、五九六	一、五九六



粟野町報

第二十號

大正十三年二月廿九日

【金曜日】

公告 示 令 達

○粟野町告示第六號

粟野町會ニ於テ議決シタル大正十三年度粟野町歳入出豫算差ノ如シ
大正十三年度粟野町歳入出豫算

歳入	歳入 豫算 高
一金四万七千五百六十九圓也	
出	經常部 豫算 高
一金三万六千二百五十九圓也	
臨時部 豫算 高	
一金二万一千三百十圓也	
合計金四万七千五百六十九圓也	
歳入出差引殘金ナシ	
歳入	經常部
第一欸 財產ヨリ生ズル收入	金千五百九十圓
第二項 基本 財產 收入	金千三百五十七圓
第二欸 小學校基本財產收入	金二百三十三圓
第一項 使用料及手 數料	金一千〇八十七圓
第一項 使 用 料	金千九百三十五圓

粟野町報

第二十號

栗野町報 第十九號

○一月二十三日區長會ヲ招集シ奉祝ニ關シ協議會ヲ開ケリ

○一月二十六日 皇太子殿下御成婚遙拜式ニ參列ノタメ安發助役、淺野收入役、谷中書記、神山書記、小曾戸雇、第一尋常高等小學校、谷津書記、尋常小學校、廣瀬書記、福田書記補、第二尋常高等小學校へ出張シ町會議員、區長、青年會會員、學校職員ト共ニ午前九時奉祝ノ禮讚ヲ遂ゲ直ニ結社内奉祝ノ神社、即チ村社口粟野神社、村社日光神社、郷社寶藏山神社廣前一一般町民ノ多數者ト參會シ社司、社掌ノ崇嚴ナル祝詞奏上ノ儀有リ小學校生徒ハ直ニ旅行列ニ移リテ町内ヲ練リ歩キ夜ニ入りテハ一月二人宛町内総出ニテ提灯行列ヲ爲シ 兩陛下萬歳 兩殿下萬歳ヲ台唱シ歡呼裡ニ散會セリ

○正 誤

○大正十二年十二月二十五日發行粟野町報第十七號トアルハ第十八號ノ誤植ニ付キ此ニ正ス

▽民力涵養標語△

町ノ發展ハ住民ノ勤勞ト協調ニアリ
國 體
すめら御國の一筋道を、忠と孝との二字で踏む。

○自 治
人の御世話にならない様は、人の世話ならする様に。
○修 養
油斷する間に時計がす、時計待たずに世は進む。

大正十三年一月二十五日印刷
大正十三年一月三十日發行

編輯兼 安 發 清 作
發行人 粟野町役場
印刷人 福田 菊 伊
發行所 栃木縣上都賀郡 粟野町役場



栗野町報 第二十號

第一項	國稅營業稅附加稅	金二千八百八十一圓
第二項	所得稅附加稅	金一千一百六十二圓
第三項	礦業稅附加稅	金一圓
第四項	戶籍割附加稅	金二千五百七十二圓
第五項	縣稅營業稅附加稅	金五百九十五圓
第六項	縣稅雜種稅附加稅	金三千九百九十圓
第七項	歲入合計	金四萬七千五百六十九圓也
第一項	役場出	常部
第二項	報	金七千〇八十九圓也
第三項	給料	金三千三十三圓也
第四項	雜用	金三千八百八十八圓也
第五項	修繕	金千八百四十六圓也
第六項	會費	金千二百二十二圓也
第七項	給料	金三百四十四圓也
第八項	雜用	金二百十六圓也
第九項	需用	金十二圓也
第十項	需用	金二十圓也
第十一項	需用	金九百〇九圓也
第十二項	需用	金五百五十九圓也
第十三項	需用	金九百五十九圓也
第十四項	需用	金九百五十九圓也
第十五項	需用	金九百五十九圓也
第十六項	需用	金九百五十九圓也
第十七項	需用	金九百五十九圓也
第十八項	需用	金九百五十九圓也
第十九項	需用	金九百五十九圓也
第二十項	需用	金九百五十九圓也

栗野町報 第二十號

第一項	手數	金五百五十二圓
第二項	國庫下渡金	金千〇二十三圓
第三項	國庫交付金	金三千〇二十三圓
第四項	國稅徵收交付金	金千〇〇八圓
第五項	縣稅徵收交付金	金四百八十六圓
第六項	補助金	金五百二十二圓
第七項	傳染病豫防費補助	金六百十圓
第八項	教育費補助	金十圓
第九項	配當金	金六百圓
第十項	配當金	金九百三十五圓
第十一項	配當金	金九百三十五圓
第十二項	配當金	金四百二十圓
第十三項	寄附金	金三百圓
第十四項	教育費寄附金	金三百圓
第十五項	小學校基本金寄附金	金七十圓
第十六項	小學校備品費寄附金	金七十圓
第十七項	町基本金寄附金	金五十圓
第十八項	前年度繰越金	金五千〇九十圓
第十九項	雜收入	金五百八十圓
第二十項	役場實業補習學校雜收入	金八十圓
第二十一項	預金	金五十圓
第二十二項	替金	金五十圓
第二十三項	過年度收入	金十圓
第二十四項	地租附加稅	金三萬二千六百二十六圓
第二十五項	附加稅	金三千〇二十六圓





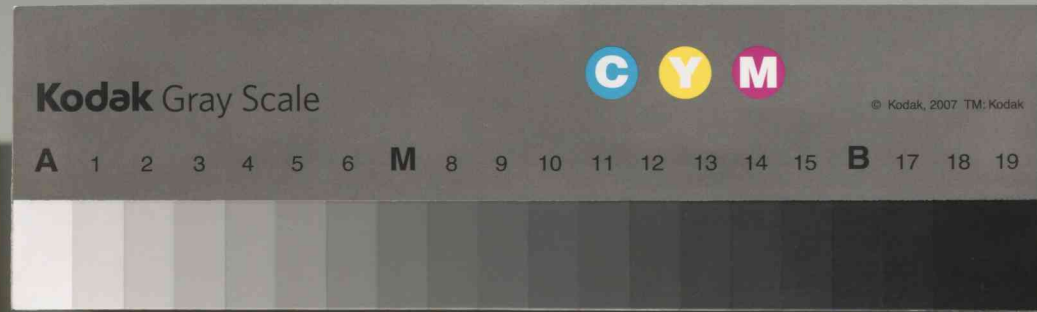
栗野町報 第二十號

第一項	給料	金三圓也
第二項	需用	金四十九圓也
第三項	需用	金十一圓也
第四項	需用	金十五圓也
第五項	需用	金四十四圓也
第六項	需用	金四十四圓也
第七項	需用	金八十圓也
第八項	需用	金八十圓也
第九項	需用	金四百二十四圓也
第十項	需用	金四百八十圓也
第十一項	需用	金二百四十四圓也
第十二項	需用	金四十四圓也
第十三項	需用	金八十圓也
第十四項	需用	金八十圓也
第十五項	需用	金四百二十四圓也
第十六項	需用	金四百八十圓也
第十七項	需用	金二百四十四圓也
第十八項	需用	金四十四圓也
第十九項	需用	金八十圓也
第二十項	需用	金八十圓也

栗野町報 第二十號

第一項	給料	金千九百九十五圓也
第二項	需用	金二百圓也
第三項	需用	金五千八百四十三圓也
第四項	需用	金四千五百圓也
第五項	需用	金六百〇四圓也
第六項	需用	金六百四十九圓也
第七項	需用	金九百圓也
第八項	需用	金二千五百五十九圓也
第九項	需用	金千七百四十四圓也
第十項	需用	金四百一十三圓也
第十一項	需用	金四百一十六圓也
第十二項	需用	金百七十四圓也
第十三項	需用	金千三百八十三圓也
第十四項	需用	金千七百八十圓也
第十五項	需用	金二百六十九圓也
第十六項	需用	金三百六十四圓也
第十七項	需用	金二百圓也
第十八項	需用	金百五十一圓也
第十九項	需用	金十五圓也
第二十項	需用	金十五圓也
第二十一項	需用	金六十四圓也
第二十二項	需用	金三十四圓也
第二十三項	需用	金三十四圓也
第二十四項	需用	金七十八圓也

五



栗野町報 第二十號

第一項 諸社 費 金百六十九圓也
第二項 神饌幣帛料 費 金三十圓也
第三項 公金取扱費 金八十圓也
第四項 金庫支費 金八十圓也
第五項 雜支 金八十圓也
第六項 過年度支 金四百十五圓也
第七項 雜替 金十圓也
第八項 雜費 金百〇五圓也
第九項 雜費 金三百圓也
第十項 雜費 金九百八十九圓也
計金 三万六千二百五十九圓也

第一項 納稅獎勵費 出 金二百三十九圓也
第二項 補助費 金八百六十二圓也
第三項 勸業補助費 金二百九十二圓也
第四項 軍人分會補助費 金五百十圓也
第五項 公債費 金六十圓也
第六項 元金賞還 金五千四百七十七圓也
第七項 利子 金四千九百八十二圓也
第八項 基本金運用利子 金四百九十五圓也
第九項 基本金運用利子 金八百五十圓也
計金 八千八百五十圓也

第五款 營繕費 金千六百五十圓也
第一項 職員住宅建築費 金千四百圓也
第二項 堆肥舍建築費 金二百五十圓也
第六款 修繕費 金三百五十圓也
第七款 隔離病舎建築費 金千六百六十二圓也
第八款 郡立學校建設寄附金 金千五百三十八圓也
第九款 招魂祭基本金寄附金 金百二十四圓也
第十款 表彰費 金二百二十圓也
計金 一万一千三百十圓也
合計金 四万七千五百六十九圓也

右告示ス
大正十三年二月廿八日

大正十三年度ノ新計劃ヲ建ツルニ際シ大正十三年中ニ取
扱タル事務ノ概要ヲ略述シ以テ參考ニ資セントス、大正十二
年一月ヨリ十二月末ニ至ル一ヶ年間本町役場ニ於テ取扱ヒタ
ル事件總額三十四百三十七件ナリ詳細表項ニテリ事務ノ分
課分等從前ニ同ク庶務財務ニ課ニ分テ庶務係ニハ選舉、議
事、學事、衛生、地理、土木、勸業、社寺、戶籍、馬籍、兵事

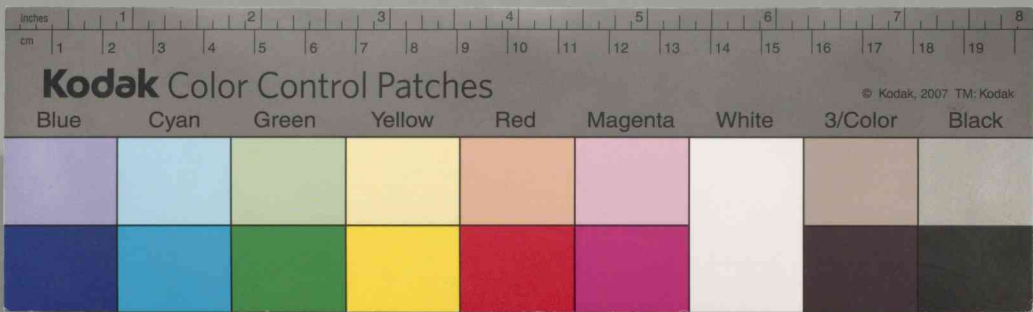
栗野町報 第二十號

栗野町長代理助役 安發 清作

統計、町報發行、其他財務ニ屬セザル事務ヲ財務係ニハ租稅
其他諸收入ノ賦課徵收及會計ノ事務ヲ分掌セシメタリ

町會ヲ招集タルコト十二回ニシテ第一回ハ二月十日大正十
一年度栗野町歳入出追加豫算ノ件町有土地場拂下ニ關スルノ
件町道廢止ノ件町道認定ノ件寄附受入ノ件第二回ハ二月六
日大正十一年度栗野町歳入出豫算追加ノ件土地賣却ノ件本

七



Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

栗野町報 第二十號

町有土地貸付ニ關スル件川敷附替及元川敷無償拂下願ニ關スル件元本町消防組額田七右衛門(記念品贈呈)ノ件第三回ハ(五百五十)三百五十五年度本町歳入出豫算議定ノ件本町青年會(補助金下付)ノ件本町軍人分會(補助金下付)ノ件本町煙草耕作組合(補助金下付)ノ件町附加稅課率議定ノ件大正十一年度本町歳入出豫算追加更正ノ件他町村ヨリ入學児童ノ指定寄附金額ニ關スルノ件町長選舉ノ件本町收入役推薦ノ件第四回ハ(三月五日)追加縣稅戶數割賦課ニ關スル件第五回ハ(三月五日)追加縣稅戶數割賦課ニ關スル件第六回ハ(四月五日)追加縣稅戶數割賦課ニ關スル件第七回ハ(五月十六日)第一區長死亡報告ノ件第一區長選舉ノ件土地貸付ノ件町長選舉ノ件災回ハ(六月)二十四日縣稅戶數割賦課ニ關スル所得額調査決定ノ件縣稅戶數割賦課ニ關スル件府縣稅戶數割規則施行細則中第七條ニ依リ控除金額決定ノ件第九回ハ(八月)十日大正十二年度本町歳入出豫算追加ノ件學務委員死亡報告ノ件學務委員選舉ノ件土木委員死亡報告ノ件土木委員選舉ノ件町附加稅課率中更正ノ件第十回ハ(十月)十四日大正十二年度本町歳入出豫算追加ノ件加藤山神社修繕費中(補助金下付)ノ件本町軍人分會(補助金下付)ノ件本町青年會(補助金下付)ノ件附附受入ノ件第三區長兼任報告ノ件第三區長選舉ノ件第十一回(十月)廿四日

縣稅戶數割賦課ニ關スル所得額決定ノ件大正十二年度縣稅下半年及追加戶數割賦課ニ關スル件縣道葛生栗野線口栗野字中町上町地内道路改良ニ關シ用水路新設費中(補助金下付)ノ件奈五等度本町歳入出豫算追加ノ件寄附受入ノ件至平年度歳入出決算報告ノ件岡久保田用水委員死亡報告ノ件岡久保田用水委員選舉ノ件第十二回ハ(十一月)廿七日大正十二年度本町歳入出豫算追加更正ノ件大正十二年度本町預算追加ノ件前回繼續分第一區長第七區長選舉ノ件基本財産受入ニ關スル件入栗野字久保、出口、宮内、三字雜災救助資金蓄積例條廢止決議變更ノ件本町退職料條例改正ノ件本町町長選舉ニ關スル件交渉委員交渉経過報告ノ件追加案第一區長代理者選舉ノ件等ナリ

選擧事務
大正十二年九月廿二日栃木縣會議員選舉ニ付當町投票所ニ於

吏員進退及ビ處分

大正十二年一月廿三日淺野光一郎再ビ收入役ニ推薦シ今年九月卅日谷中長一郎神山知樹書記ニ昇任福田重勝書記補ニ任命セリ第一區長中枝武雄大正十二年四月廿二日死亡シ第三區長松本菊太全年廿一日辭職シ今日第三區長松本義平當選就任シ第一長二關口喜八郎前年欠員ノ第七區長鈴木定吉第一區長代理者ニ廣田惣太郎第七區代理者ニ鈴木武吉何レモ當選就任セリ

テ投票數ハ三百九十人ニシテ選舉人名簿ニ登錄セラル有權者數四百三十人ナリ全年九月十五日現在ニ依リ調整セル縣會議員選舉人名簿ニ登錄ノ有權者數四百一十六人ナリ今年十月一日現在ニ依リ調整ノ後議員選舉人名簿ニ登錄ノ有權者數ハ二百四十二人ニシテ十一月五日ヨリ十五日間栗野町役場ニ於テ開覽セシメ大正十二年十一月廿日ヲ以テ確定セリ町會議員補充選舉ハ大正十二年十一月七日執行シタルガ當時町報ヲ以テ報告シ置ケルヲ以テ茲ニ其概略ヲ掲グベシ選舉人名簿ニ登錄セラレタル一級選舉人十九人二級選舉人四百七十七人本名簿ハ大正十二年十月八日現在ニ依リ調整シ十月十八日ヨリ七日間關係者ノ從覽ニ供シ十二月四日ヲ以テ確定セリ選舉ノ結果一級選出額田七右衛門本豊吉一級選出落合幸作中枝武計四人ニシテ本町議員定數十八名ニ達セリ

庶務係 (取扱件數)

一選舉、議事、學事、衛生、社寺、農工商、兵事、統計、
一戶籍寄附馬籍、
一地理、土地異動、土木、

計 四千七百七十七件

財務係

一租稅
一徴収及會計其他

計 三百九十八件
三百二十二件

計 七百二十件
徵稅令書及貯金切符付枚數

一國稅 四千三百八十九枚
一縣稅 六千二百七十一枚
一町稅 二千四百四枚
一雜收入 千七百六十枚
一勤儉貯金 千六百一十一枚
一貯是貯金 一千〇八十三枚

計 一万八千二百八十八枚

條例規則

其本財産預金ハ管理規定ニ依リ栗野銀行ニ預ケ入シタリ其現在別冊明細表ニ明記ス

條例規則中改廢シタルモノナシ

一土
縣費地元請負ニ屬スル道路工事十一ヶ所此金五千一百一十一圓橋梁工事十ヶ所此金七千七百七十三圓堤防工事四ヶ所此金八百四十八圓護岸工事二ヶ所此金六百四十四圓ニシテ竣功セリ外橋梁工事二ヶ所ノ施行中ニアリ町費地元請負ニ屬スル字境澤道路工事四ヶ所此金九百六十六圓橋梁工事一ヶ所此金六百三十九圓ニシテ内金五百二十三圓縣補助ヲ受ケ竣功セリ